MITSUBISHI

# 自然冷媒$CO_2$家庭用ヒートポンプ給湯機

季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯（通電制御型）

# 取扱説明書

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

## 環境と家計を大切にする
## 三菱エコキュート

システム形名

システム形名チェック欄■に、お買い上げの給湯機をチェックしてください。
（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

**一般地向け**

■ SRT-HP37C7（エスアールティー エイチピー シー）

■ SRT-HP37CD7

■ SRT-HP46C7

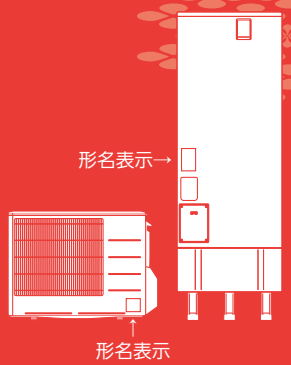
このたびは、三菱エコキュートをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。

■お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

■「保証書」「据付工事説明書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。

■「据付工事説明書」のとおりに据付工事が行われているか確認してください。
※「据付工事説明書」のチェックリストや工事完了後の確認をご活用ください。



# 環境のコト、家族のコト。
# みんなの笑顔いっぱいの三菱エコキュート。

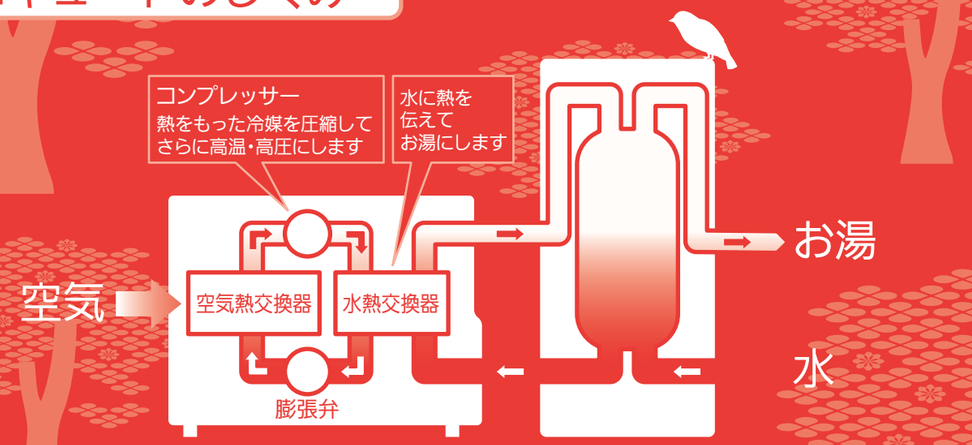
**省エネ**
空気の熱を利用し
お湯をつくります

**安 心**
火を使わないので
空気を汚さず
イヤなニオイもありません

**快 適**
お湯の使用量を学習し
最適な湯量を自動で
わかします
17ページ

**簡単**
湯はりは
簡単ワンタッチ
12ページ

## エコキュートのしくみ




- お湯が不足しないように、昼間にもわき上げすることがあります
- お湯の使用量が少ないときは、お湯のムダを防ぐため、満タンまで
  わき上げないことがあります

残湯量表示

## 知っておいていただきたいこと

- お湯の温度・残湯量は周囲環境によって変動します
- 水は体積膨張するため、わき上げ中に排水口から水が排出されることがあります
- わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします、また少量のドレン水が出ます
- 湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して浴槽に青い線がつくことがあります



# 準 備

**●ご使用の前に必ずお読みください**
4…安全のために必ずお守りください
6…ご使用にあたってのお願い
8…各部のはたらき
10…リモコンのはたらき

**●台所リモコンの表示を確認してください**
点灯している場合は…そのままご使用ください
消灯している場合は…「使いはじめ(準備) P33 」をご覧ください

# もくじ

## 浴室リモコンの使いかた

⑫ふろ自動運転
12…湯はり温度
13…湯はり湯量
⑬湯加減を調節する
13…高温さし湯
14…たっぷり、ぬるく
⑮給湯温度設定
⑯インターホン インターホンタイプ
16…呼出 ベーシックタイプ
⑫注水洗浄

便利な機能(浴室リモコン)
19…音声ガイダンス
20…チャイルドロック

スマート機能(浴室リモコン)
22…高温さし湯の量、湯切れ報知音
23…自動消灯時間、バックライトモード
24…アシスト湯はり

## 台所リモコンの使いかた

⑫ふろ自動運転
19…ふろ予約
㉑節電モード
㉑お湯をチェックする
20…残湯量表示
21…お湯チェック
⑮給湯温度設定
⑯給湯する
⑯インターホン

便利な機能(台所リモコン)
16…時計合わせ
17…わき上げモード、わき上げ休止
18…わき上げ停止日数、満タンわき増し
19…音声ガイダンス

スマート機能(台所リモコン)
24…タンク内温度、給湯使用量
25…湯切れ報知音、自動消灯時間
26…バックライトモード、使用湯量モード
27…電力契約モード、ピーク停止

## こんなとき

㉘お手入れと点検
㉚停電・断水時、非常時の取水方法
29…定期点検(有料)
31…仕様、給湯機の基本原理
32…機器を使用しないとき
33…使いはじめ(準備)

## 故障かな

34…故障かな?と思ったら
38…リモコンにエラーが表示されたら
39…保証とアフターサービス

# 安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。 | ⚠注意 | 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。 |

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 禁止 | 接触禁止 | 分解禁止 | 指示に従う | アース工事確認 |

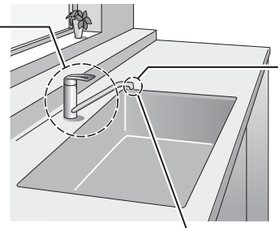
■機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 感電注意 | 高温注意 | 発火注意 | 回転物注意 |

## やけどを防ぐために!

### ⚠警告

**給湯時は湯水混合栓に手を触れない**



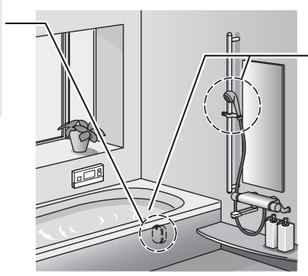
**使いはじめは、湯温を確認する**

特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。

**停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する**

設定温度と異なる温度のお湯が蛇口から出ることがあります。

**「高温さし湯」使用時は、浴槽アダプターから離れる**



**入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する**

ヒートポンプ配管に手を触れない

給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない

給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき(P8～P9)をご覧ください。





## 安全に使用するために

### ⚠警告

**浴槽にお湯がないときは、あつくスイッチを押さない**
(やけどの原因)

前面カバーや工事用窓を開けない、給湯機やリモコンを分解・改造しない
(漏電や感電・火災の原因)

近くにガス類や引火物を置かない
(ガスボンベからは2m以上離す。)
(火災の原因)

ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない(けがの原因)

異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「修理窓口 P39 」へ連絡する(火災・感電・やけどの原因)

### ⚠注意

**浴槽アダプターをふさがない**
(配管破損・水漏れの原因)

機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない
(事故・やけどの原因)

**そのまま飲用しない**

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化で水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記に注意し一度ヤカンなどで沸騰させてください。

- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用する。
- 熱いお湯が出てくるまでの配管にたまっている水は、雑用水として使用する。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼する。

## 機器の点検・お手入れに関する注意

### ⚠警告

**逃し弁点検時は配管に手を触れない**(やけどの原因)

**漏電遮断器の動作を確認する**(感電の原因)

**アース工事を確認する**
(感電の原因)
アースの取付けは据付工事店(販売店)へお問い合わせください。

### ⚠注意

ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない
(ヒートポンプユニットの落下、転倒によるけがの原因)

**逃し弁を点検する**(配管水漏れによるやけどの原因)

**凍結防止対策の確認をする**
(配管が破裂してやけどの原因)

貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定されているか確認する
(貯湯ユニットの転倒によるけがの原因)

操作窓・配管カバーは閉じる
(漏電や感電の原因)

床面が防水・排水処理されているか据付工事店(販売店)へ確認する
(水漏れによる損害の原因)

## 長期間使用しないとき、使用を再開するとき

### ⚠注意

タンクの熱湯を排水口から直接排水しない、タンク内の熱湯は熱いまま排水しない
(やけどの原因)

**機器を使用しないときは、機器と配管内の水を抜く**
(凍結により機器が破損してやけどの原因)

初めて使用するときや使用を再開するときは、本書の手順にしたがう

1カ月以上使用しないときは、機器と配管内の水を抜く
(水質が変化する原因)

# ご使用にあたってのお願い

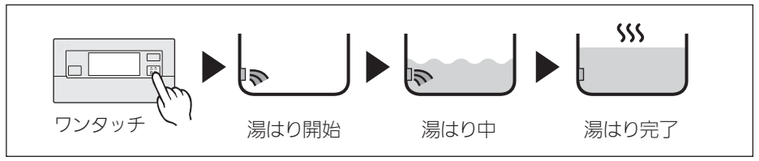
## 便利・上手な使い方

### お湯を上手に使う

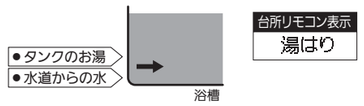
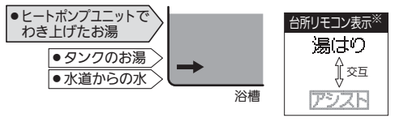
- わき上げモードを「おまかせ」に設定すると、お湯を効率的にわかします。
- 貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
  シャワーや洗いものを流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。
- おふろのお湯が冷めたときは、お湯を少し排水してから高温さし湯を使用すると効率的に素早くあたためることができます。

### ふろ自動運転について

この給湯機は、おふろにワンタッチの自動運転（ふろ自動運転）でお湯を入れて使います。




また、湯切れを予防しながら効率の良い湯はりを行います。

| 湯切れの心配が少ない場合 | 湯切れの心配がある場合 |
|---|---|
| 〈通常湯はり〉<br>タンクのお湯と水道からの水で行う湯はり | 〈アシスト湯はり〉<br>ヒートポンプユニットでわき上げたお湯を加えた湯はり |
|  |  |

※浴室リモコンは、ヒートポンプユニット動作時に「アシスト湯はり」と表示されます。

〈ご確認事項〉

以下の場合は、通常湯はりのみを行います。

- 「わき上げ休止」「わき上げ停止日数」を設定しているとき
- 「アシスト湯はり」を「禁止」に設定しているとき
- わき上げを停止した直後
- 夜間時間帯
- 給水温度が高く、ヒートポンプユニットでわき上げたお湯を混ぜる必要がないとき
- タンク内の温度が低く、ヒートポンプユニットでわき上げたお湯を混ぜたときに設定温度で給湯できないとき
- 設置後約1週間
- 浴槽の残り湯がある場合
- 台所リモコンに「ピーク停止」が表示されているとき

〈こんなとき〉

| | |
|---|---|
| リモコンの表示が切り替わる | ●アシスト湯はり中は、リモコンの表示が切り替わります。 |
| ヒートポンプユニットが昼間に動く | ●アシスト湯はり中は、ヒートポンプユニットが動きます。 |
| 夜間時間帯になってもすぐにわき上げない | ●アシスト湯はり中は、リモコンに「わき上げ中」は表示されませんが、わき上げは行なっています。 |





## 使用上のご注意

### 必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・ヒートポンプユニット・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。）

### 高温さし湯についてのお願い

高温さし湯を行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯が出ます。
お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。

### リモコンに水をかけない

台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないでください。浴室リモコンは防水タイプですが、完全防水ではないため、なるべく水をかけないでください。（故障の原因）

### お湯の温度が低い場合

- 浴槽内の温度は、配管や浴槽の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。
- 蛇口で使用するお湯は、配管の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。低いと感じた場合は、設定温度を上げてください。

### 蛇口やシャワーからの給湯中の表示について

- 給湯中は、リモコンに「給湯マーク」を表示します。
- 蛇口やシャワーの開き方が少ないと、設定温度と異なる温度のお湯が出ることがあります。「給湯マーク」を確認してください。
- 蛇口やシャワーの勢いが強くてもお湯を少ししか混ぜてない場合、「給湯マーク」が点灯しない場合があります。

| 給湯マーク | 台所リモコン： | 浴室リモコン： |
|---|---|---|

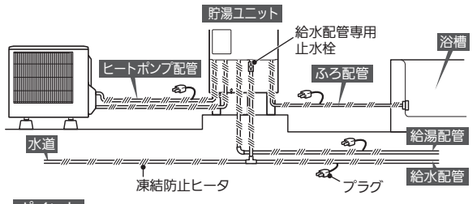
## 凍結防止についてのお願い

据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。
寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒータのプラグを入れる）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）

| ⚠注意 | 凍結防止対策の確認をする（配管が破裂してやけどの原因） |
|---|---|

### ■凍結防止ヒータを使う

❶凍結防止ヒータが図のように設置されているか確認する
❷使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込む




ポイント

- 凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。
- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。（わき上げ停止日数が設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。）

### ■少量の水を流し続ける（給水配管、給湯配管の凍結防止処置）

外気温が0℃以下になると、給水・給湯配管に保温工事がしてあっても、配管が凍結する場合があります。配管が凍結するおそれがある場合は、以下の凍結防止処置を行なってください。

❶夜 お湯を使わなくなったら、リモコンの給湯温度を「水」に設定する P15

❷給湯栓を少し開き、糸引き状態に水を流す

- 1分間に200cc程度を目安としてください。
- 湯水混合栓のタイプによって開きかたが異なります。

| シングルレバータイプ | 2バルブタイプ | サーモスタットタイプ |
|---|---|---|
| お湯側にレバーを回して上げる（下げる） | お湯側を開く | 温度調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く |
| | | |

❸翌朝使用するときは、給湯栓を閉じ、給湯温度を変更する

## 点検・お手入れ

### 浴槽アダプターのお手入れ、浴槽等の点検 P28

- 浴槽のお湯を排水した後に浴槽アダプターのカバーを水洗いしてください。こまめにお手入れを行なってください。
- 浴槽や洗面台はよく洗ってください。
  汚れが付きにくくなります。

### リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。**時刻がずれていると、電気料金は割高になります。**

### リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は、変形や変色の原因になりますので使用しないでください。

### 機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

- 運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）
- 最低気温がマイナス10℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

### 機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。（誤動作や故障の原因）
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。（性能低下や故障の原因）

### 定期点検の実施 P29

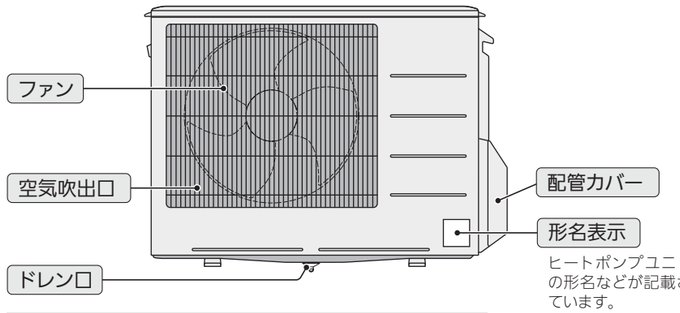
給湯機を少しでも長くお使いいただくため、3年に1度、定期点検（有料）を行なってください。

# 各部のはたらき

## ヒートポンプユニット

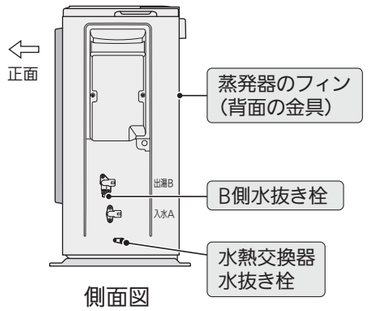
### 〈一般地向け370L用〉

対象形名:SRT-HPU45A7




ヒートポンプユニットの形名などが記載されています。

〈配管カバーを外した図〉

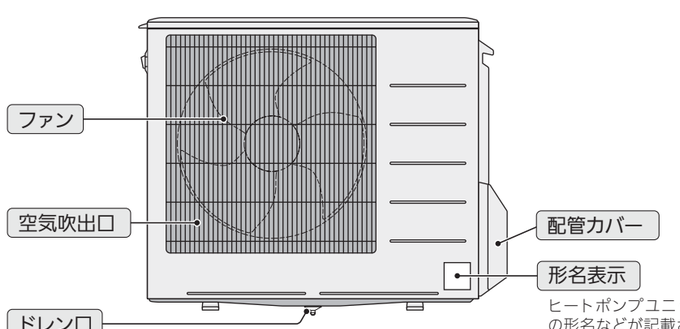



側面図

運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）ことがありますが故障ではありません。

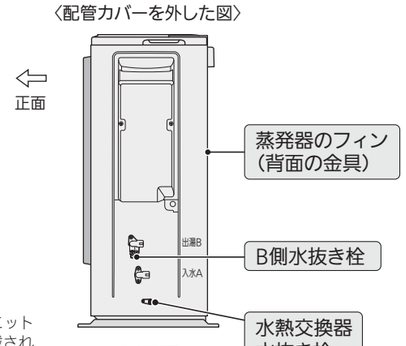
### 〈一般地向け460L用〉

対象形名:SRT-HPU60A7




ヒートポンプユニットの形名などが記載されています。

〈配管カバーを外した図〉



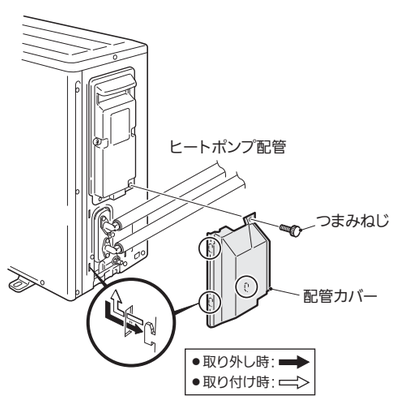

側面図

運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）ことがありますが故障ではありません。

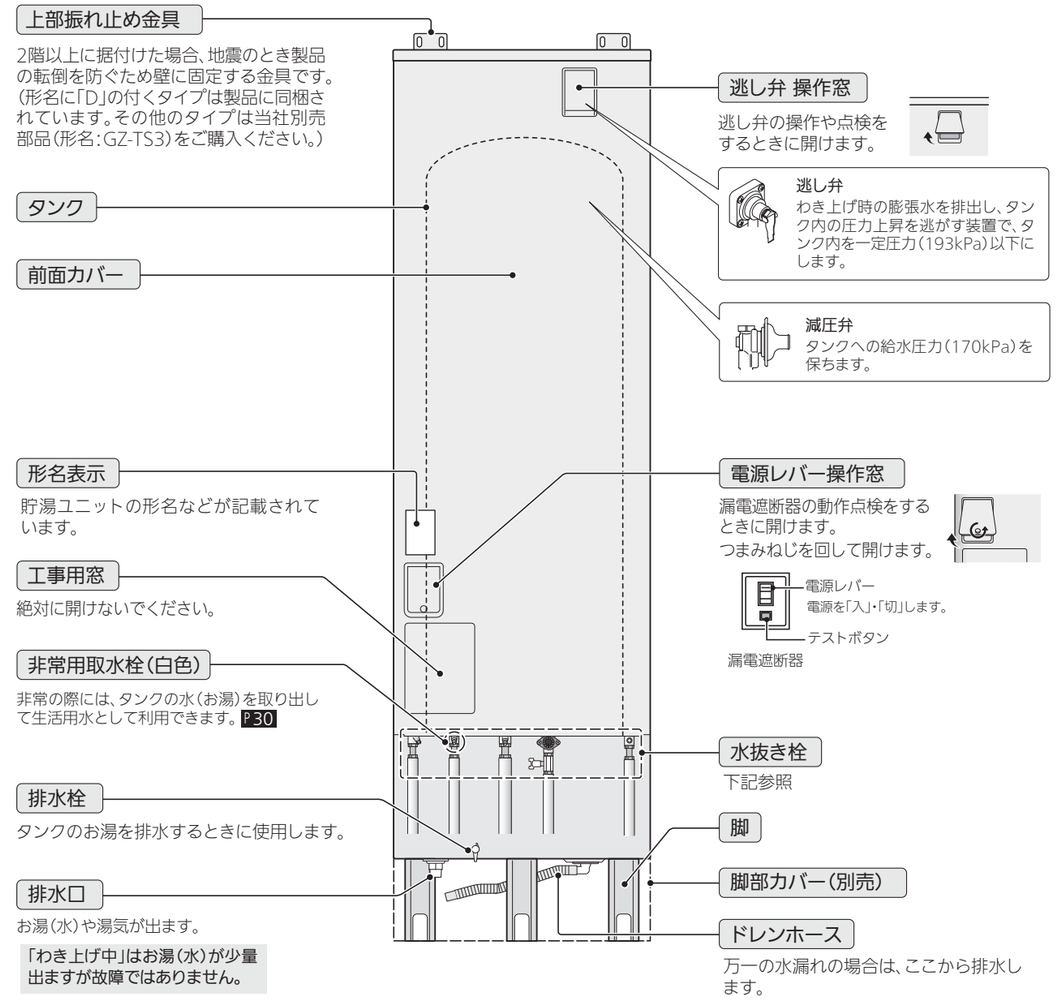
### 配管カバーの外しかた

（1）貯湯ユニットの電源レバーを「切」にする
（2）つまみねじ（1本）を外す
（3）配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

| ⚠警告 | ヒートポンプ配管に手を触れない（やけどの原因） |
|---|---|



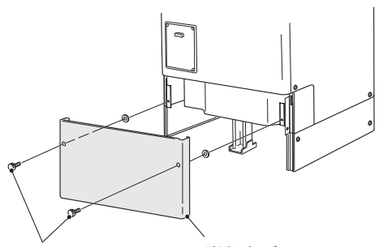

## 貯湯ユニット 機種によって部品の取付位置や形状が異なります。



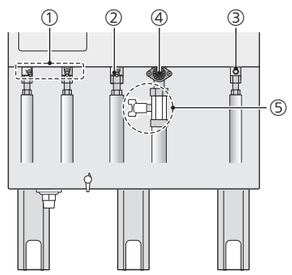

### 脚部カバー（別売）の外しかた

（1）つまみねじ（2本）を外す
（2）脚部カバーを手前に引く

ポイント ●金属端面に注意して外してください。




### 水抜き栓、給水ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置




| | |
|---|---|
| ① | ヒートポンプ配管用水抜き栓 |
| ② | 給湯配管用水抜き栓 |
| ③ | ふろ配管用水抜き栓 |
| ④ | 給水ストレーナ |
| ⑤ | 給水配管専用止水栓 |

「⑤給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。
水が漏れるなどの異常がありましたら、「⑤給水配管専用止水栓」を閉じてください。

# リモコンのはたらき

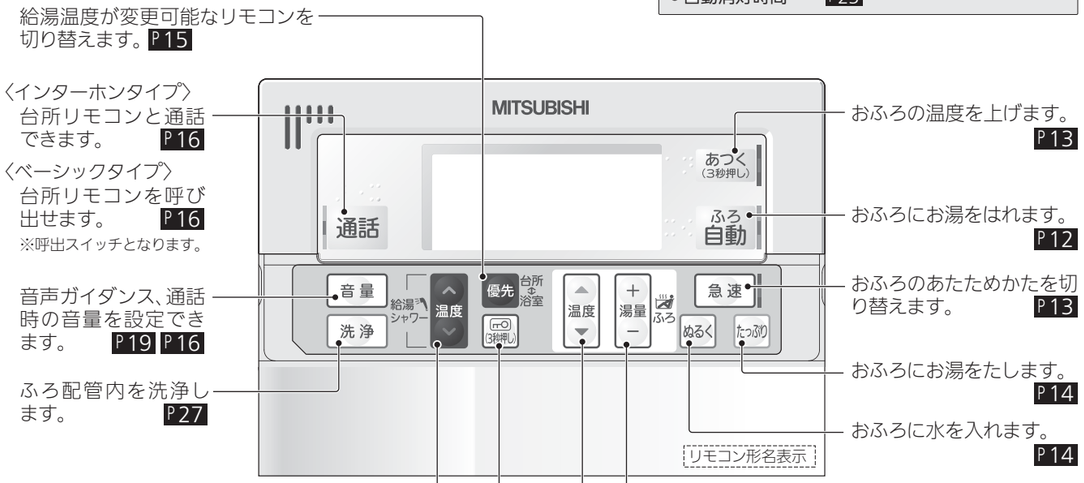
※リモコンのドット文字は株式会社リコー製ビットマップフォントを使用しています。

## 浴室リモコン

〈インターホンタイプ〉　形名：RMC-BD7（アールエムシー ビーディー）
〈ベーシックタイプ〉　形名：RMC-B7

〈スマート機能〉

- 高温さし湯量 P22
- 湯切れ報知音 P22
- 自動消灯時間 P23
- バックライトモード P23
- アシスト湯はり P24

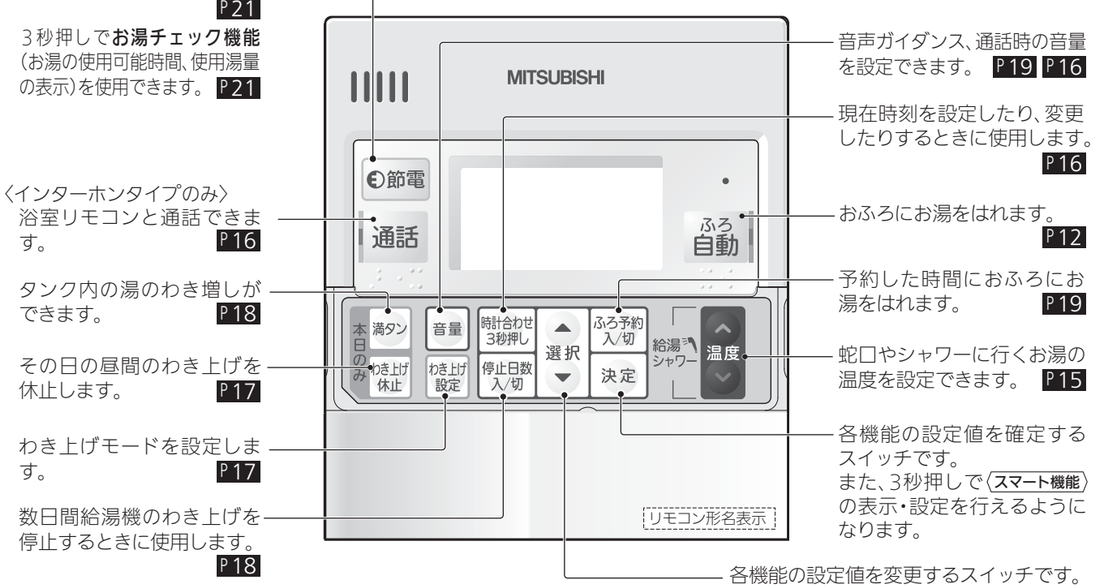



## 台所リモコン

〈インターホンタイプ〉　形名：RMC-KD7（アールエムシー ケーデー）
〈ベーシックタイプ〉　形名：RMC-K7

〈スマート機能〉

- タンク内温度表示 P24
- 給湯使用量表示 P24
- 湯切れ報知音 P25
- 自動消灯時間 P25
- バックライトモード P26
- 使用湯量モード P26
- 電力契約モード確認 P27
- ピーク停止 P27



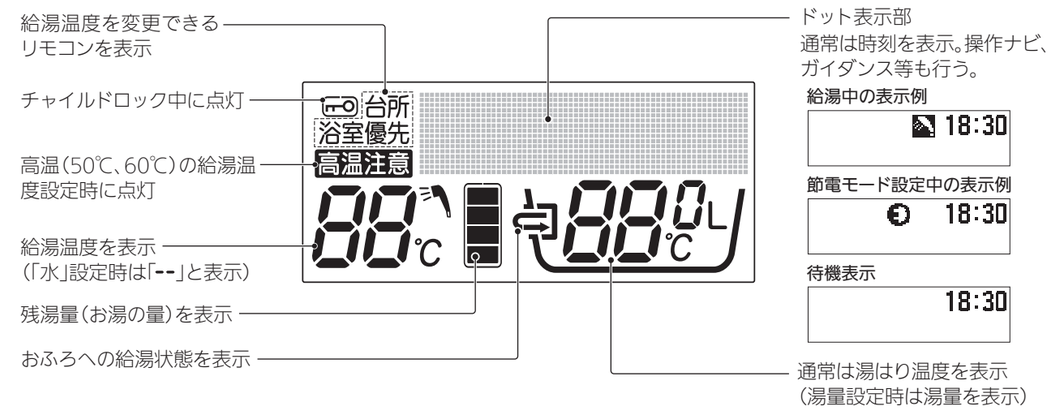




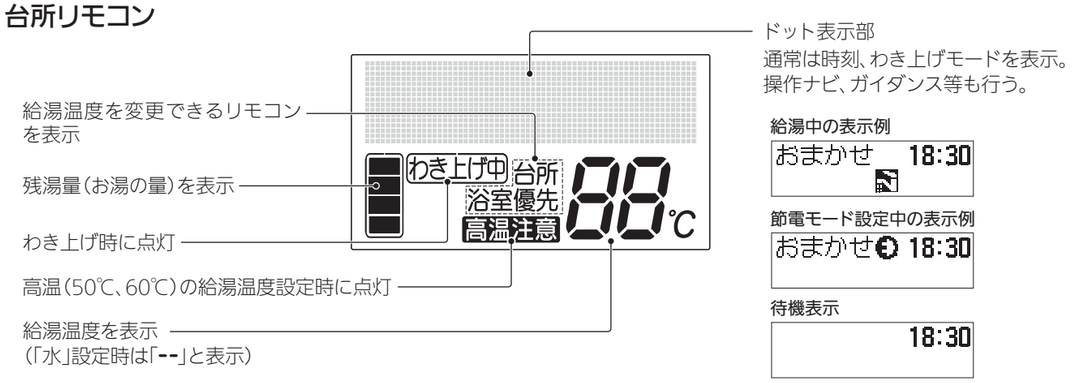

## リモコン表示部（説明のため、画面は表示が点灯した状態にしてあります。）

画面はバックライト付きです。待機表示中は時計のみ表示します。

### 浴室リモコン



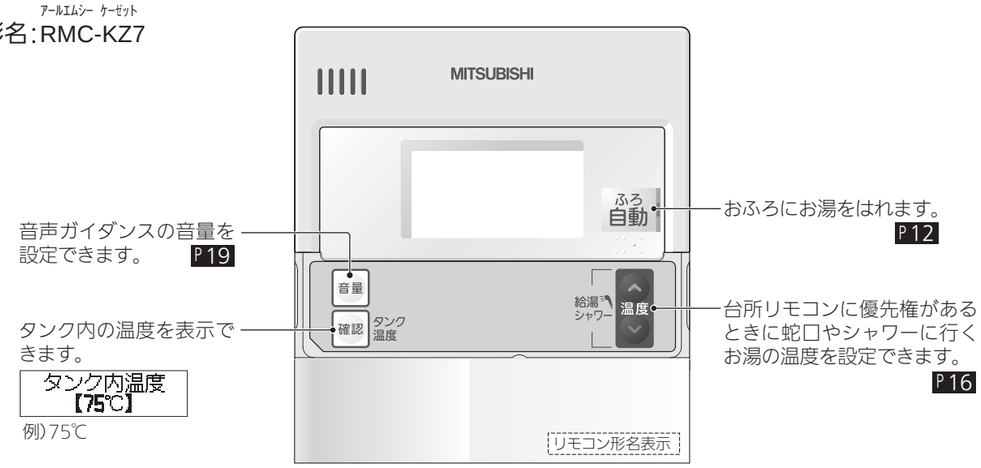

### 台所リモコン




### サブリモコン（オプション）

※インターホン機能はありません。

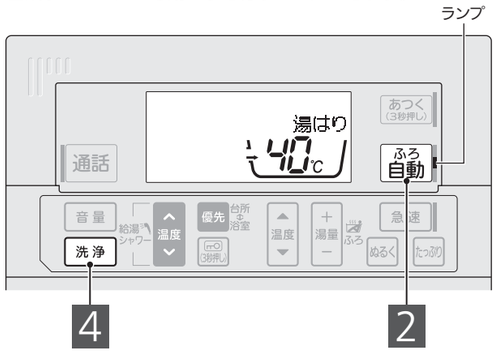
形名：RMC-KZ7（アールエムシー ケーゼット）



# ふろ自動運転

この給湯機は、おふろにワンタッチの自動運転（ふろ自動運転）でお湯を入れて使います。

浴室リモコンで説明しています。
台所リモコンからも湯はりを行うことができます。



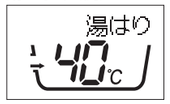

ランプ
点滅：湯はり中
消灯：湯はり完了時

**1** おふろに水がないことを確認し、おふろの栓、ふたをする

**2** ふろ自動 を押す

- 湯はりが始まります。

湯はり中（例）




40℃ 200Lで
お湯はりをします
▼
おふろの栓は
しましたか

**3** 湯はりが終わると音声、完了音でお知らせします

**4** 入浴後、ふろ自動ランプが消灯していることを確認し、お湯を排水して

洗浄 を押す

注水洗浄を
開始します

- 浴槽アダプターから約8Lの水が出ます。（自動で停止）

■途中でやめるとき：もう一度ふろ自動スイッチを押す

**ポイント**

- **アシスト湯はり中は、リモコンの表示が切り替わります。（右表）**
- **リモコンに「お湯がなくなりました」が表示されているときは、湯はりできません。**
- 浴槽に残り湯があるときふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量によっては、湯があふれますので残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。

| 通常 |
| --- |
| 湯はり |

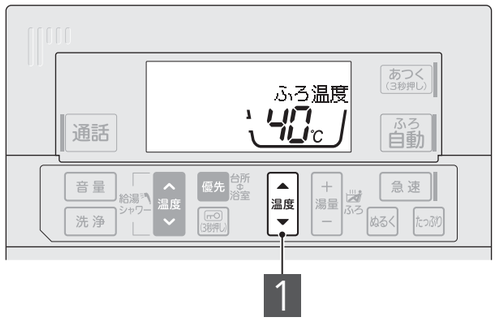
| ヒートポンプユニット動作時（交互に表示） |
| --- |
| 湯はり ⇔ アシスト |

# 湯はり温度

●設定範囲

35℃～48℃（1℃刻み）
工場出荷時は42℃

※温度は目安です。




**1** ふろ温度スイッチで温度を設定する

- ▲…1℃上がる
- ▼…1℃下がる

ふろ温度
40℃
変更後の設定

ふろ温度が40℃に
設定されました

**ポイント**

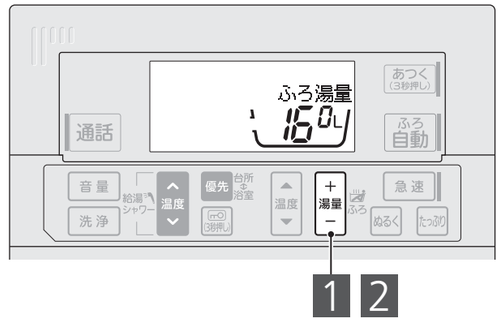
- **湯はりの「温度」は目安温度です。**浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、設定温度よりも少し下がることがあります。湯はり直後の浴槽内温度が低い場合は、次回から湯はりの温度を上げて湯はりをしてください。
- 湯はり中でも、湯はり温度を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの温度が設定と異なる場合があります。

# 湯はり湯量

●設定範囲

100L～400L（20L刻み）
工場出荷時は180L

※量は目安です。




**1** ふろ湯量スイッチを押す

ふろ湯量
180L
ご使用中の設定

**2** ふろ湯量スイッチで湯量を設定する

- ＋…20L増える
- －…20L減る

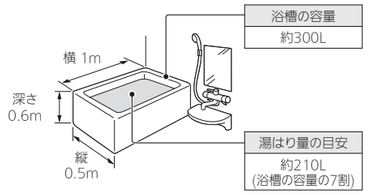
ふろ湯量
160L
変更後の設定

ふろ湯量が160Lに
設定されました

**ポイント**

- **湯はりの量を設定するときは、最初は浴槽に対して少なめに設定してください。**ただし、浴槽アダプターが水中にかくれるように設定してください。

**湯はり量は、浴槽の容量に対して7～8割が一般的です。**
例えば、下図浴槽の場合、浴槽の容量は約300L※ですので、湯はり量の目安は、約210L（300L×0.7）となります。
200Lまたは220Lを設定してください。
※0.5m×1m×0.6m×1000L/m³=300L

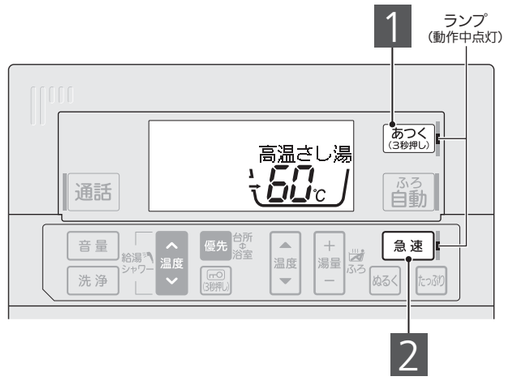



- 湯はり中でも、湯はり湯量を変更できます。ただし、湯はりが完了したときの湯量が設定と異なる場合があります。

# 高温さし湯

湯はりをするときに設定した温度・湯量を約2℃上げるために必要な量の熱いお湯が入ります。
（最大で約60L、自動で停止）

**⚠警告**
- 「高温さし湯」使用時は、浴槽アダプターから離れる（やけどの原因）
- 浴槽にお湯がないときは、あつくスイッチを押さない（やけどの原因）




**1** あつく（3秒押し）を3秒以上押す

高温さし湯を
開始します
▼
あついお湯が
出ます

- 高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから熱いお湯（約60℃）が出ます。

動作中の表示

高温さし湯温度

〈すばやくあたためたいときは〉

**2** 高温さし湯中に 急速 を押す

急速モードに
切り替えます
▼
あついお湯が
出ます

- 急速高温さし湯が始まります。浴槽アダプターから熱いお湯（約80℃）が出ます。

動作中の表示

高温さし湯温度

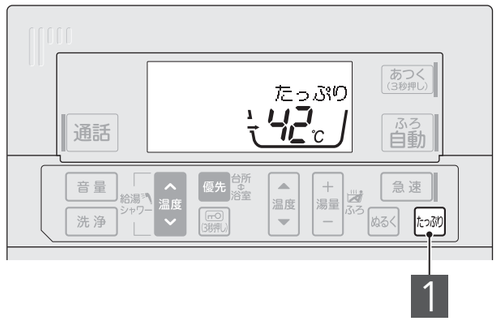
■高温さし湯を途中でやめるとき：あつくスイッチを押す

**ポイント**

- 急速高温さし湯中にもう一度、急速スイッチを押すと、通常の高温さし湯に戻ります。
- 高温さし湯の湯量を50Lに固定することもできます。（P22）
- リモコンに「お湯がなくなりました」が表示されている場合は使用できません。
- 少しお湯を排水してから高温さし湯をすることをおすすめします。

# たっぷり

設定温度のお湯を約20L追加します。(自動で停止)




**1** **たっぷり を押す**

- 浴槽アダプターからお湯が出ます。

動作中の表示

たっぷりを開始します
↓
お湯をたします

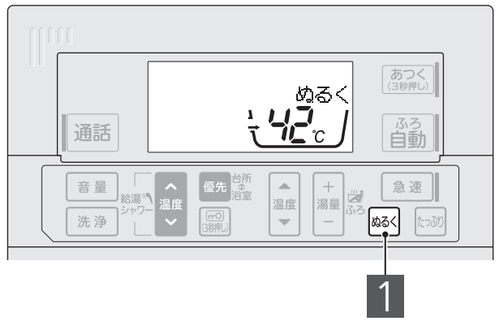
■途中でやめるとき：もう一度たっぷりスイッチを押す

ポイント

- リモコンに「お湯がなくなりました」が表示されている場合は使用できません。

# ぬるく

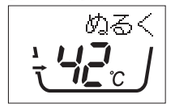
湯はりをするときに設定した温度・湯量を約1℃下げるために必要な量の水が入ります。
(最大で約20L、自動で停止)




**1** **ぬるく を押す**

- 浴槽アダプターから水が出ます。

動作中の表示




ぬるくを開始します
↓
水をたします

■途中でやめるとき：もう一度ぬるくスイッチを押す

# 給湯温度設定

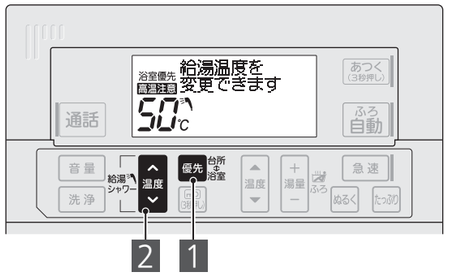
給湯温度(蛇口・シャワーへ行くお湯の温度)は、「優先」表示のあるリモコンで設定できます。

※浴室リモコンか台所リモコンのどちらか一方で給湯温度変更をできるようにすることを、そのリモコンに「優先権」を与えると呼んでいます。例えば、浴室でシャワーを浴びているときに台所リモコンで蛇口のお湯を熱くすると、熱いお湯が出る可能性があります。この場合は、台所リモコンでの温度変更を禁止させるため、浴室リモコンに「優先権」を与えてください。

●設定範囲

水(表示は「--」)／35℃～48℃(1℃刻み)／50℃／60℃
工場出荷時は50℃

浴室リモコン




台所リモコン

**1** **浴室リモコンの**
**優先 を押す**

給湯温度を変更できます

- 押すごとに、優先権が移ります。

**2** **優先権のあるリモコンの給湯温度スイッチで**
**温度を設定する**

給湯温度が50℃に変更されました

- ▲…温度が上がる
  ▼…温度が下がる

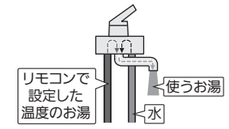
ポイント

- 工場出荷時は浴室リモコンに優先権があります。
- リモコンに「優先権」がなくなったときは警告音が鳴ります。一方、優先権をもったリモコンは音声でお知らせします。給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。
- 優先権を台所リモコンから浴室リモコンに変更した場合、給湯温度は、以前に浴室リモコンで設定された温度となります。一方、優先権を浴室リモコンから台所リモコンに変更した場合、給湯温度は変わりません。
- 給湯温度を50℃以上に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。60℃に設定した場合は各リモコンから警告音が鳴り、音声ガイダンスも流れます。
- 給水配管、給湯配管の凍結防止処置をする際(P 7)、少量の水を流し続ける場合は「水」設定にしてください。
- 給湯の「温度」は目安温度です。

# 給湯する(湯水混合栓)

湯水混合栓のハンドル調整によって、リモコンで設定した温度のお湯に水を混ぜて給湯します。

**使うお湯がぬるい場合は、ハンドルを調整したり、リモコンの給湯温度設定を上げたりしてください。**




**⚠警告** 入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する(やけどの原因)

**1** **リモコンで給湯温度を確認する**

**2** **蛇口を開き、湯水混合栓の温度を調節する**

- 湯水混合栓のタイプで調節方法は異なります。

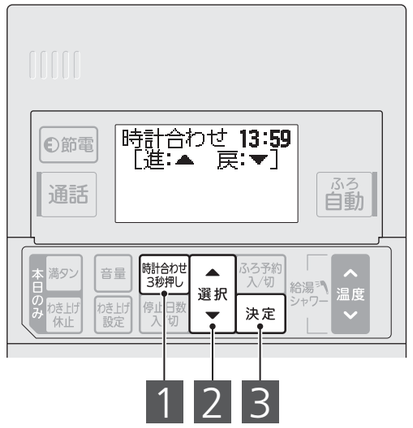
| シングルレバータイプ | 2バルブタイプ | サーモスタットタイプ |
|---|---|---|
| レバーを回して調節する | 給湯栓、給水栓で調節する | 温度調節つまみで調節する |
|  |  |  |
|  |  |  |

ポイント

- 冬場など、お湯がぬるい場合は、給湯温度の設定を上げてください。
- サーモスタットタイプの場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。
- 給湯機や湯水混合栓を初めて使用する際は、湯水混合栓の取扱説明書にしたがって温度調節をしてください。正しく調節しないと、お湯がぬるいなどの原因になります。
- 給湯配管の長さによっては、お湯が蛇口に届くまで時間がかかることがあります。

# 時計合わせ

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。
台所リモコンで設定します。




**1** 時計合わせ 3秒押し を3秒以上押す

- 時刻が点滅します。

時計合わせ 13:59
［進:▲ 戻:▼］
↕交互表示
時計合わせ 13:59
［確 定: 決定 ］

**2** 選択スイッチで時刻を合わせる

- ▲…1分間進む
  ▼…1分間戻る
  （押し続けると連続して変更）

時計合わせ 14:00
［進:▲ 戻:▼］

**3** 決定 を押す

時計が14:00に
設定されました

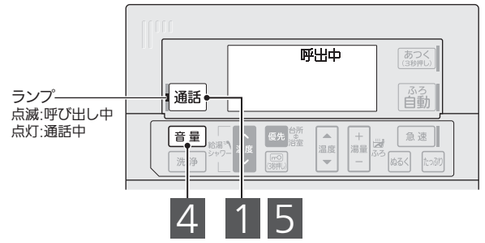
**ポイント**

- 各スイッチ操作は約1分間以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- **時計の時刻は停電などにより若干変動します。**
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。

# インターホン インターホンタイプ

各リモコン間でインターホンとして会話ができます。
（最大約1分間）

**例）浴室から呼び出す場合**（台所からも呼び出せます。）




**1** 通話 を押す

- 呼出中が表示されます。

呼出中

**2** 相手側のリモコンの呼出音が鳴り、ランプが点灯します。

**3** 通話中が表示されたら、そのまま通話できます。

通話中

**4** 通話音量を変えるときは、通話中に 音量 を押す

- 押すごとに、音量がかわります。

標準 → 最大 → 最小

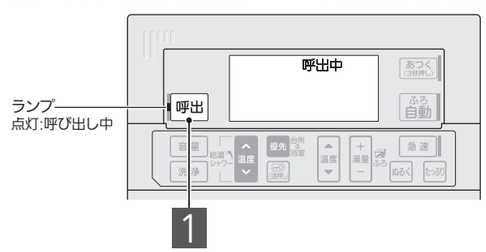
**5** 通話をやめるときはどちらかの 通話 を押す

**ポイント**

- リモコンに向かって約30cm程度の距離で話してください。（近すぎると相手側で聞き取りにくくなります。）
- **周囲の環境や会話の仕方（声が小さいなど）によっては、通話が途切れる場合があります。（テレビはボリュームを下げるか消音にして）雑音のない環境で通話を行なってください。**
- 一度に両方のリモコンで話すとうまく会話ができません。交互に会話してください。
- 通話中は、スイッチを押してもブザー音や音声ガイダンスは出ません。
- 通話スイッチを連続して押すと雑音が発生することがあります。

# 呼出 ベーシックタイプ

呼出スイッチを押すと、台所リモコンで呼出音が鳴ります。




**1** 呼出 を押す

- 呼出ランプが点灯します。

呼出中

**ポイント**

- 途中で取り消しはできません。
- 呼出音の音量調節はできません。

# わき上げモード

給湯機のわき上げモードを決めるための設定です。

**●設定範囲**

| わき上げモード | こんなときに |
|---|---|
| おまかせ | **■おすすめ省エネモード**<br>過去の使用湯量を学習し、最適なお湯の量を自動でわかします。 |
| 多め | **■「おまかせ」ではお湯がたりないときに設定するモード**<br>過去の使用湯量を学習し、「おまかせ」より多めにお湯をわかします。 |

※使用する分だけわき上げるモードもあります。（P26）

工場出荷時はおまかせ

**1** わき上げ設定 を押す

- 押すごとにモードが移動します。

→ おまかせ → 多め →

おまかせに
設定されました
↓
7～23時もわかすことがあります

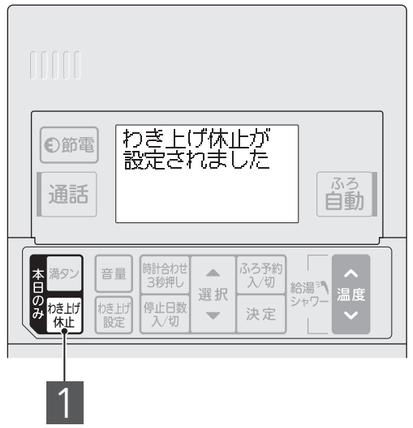
※時間は電力契約モードによって異なります。

**ポイント**

- **お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。**
- **お湯の使用量が少ないときは、ムダを防ぐため、満タンまでわき上げないことがあります。満タンにわき上げたい場合は、「多め」をご使用ください。**
- **いつもより多めにお湯を使用する場合、昼間わき上げをしてもお湯がたりなくなることがあります。その場合は満タンわき増しをご利用ください。（P18）**
- 設置後2週間は、学習運転を行うため昼間のわき上げが多くなります。

# わき上げ休止

当日のみ昼間のわき上げを停止することができます。
当日もうお湯を使用しない場合に設定すると、昼間のわき上げを停止できます。残湯量表示（P20）や、お湯チェック（P21）を目安に、湯切れしないと思われる場合のみ設定することをおすすめします。




**1** わき上げ休止 を押す

わき上げ休止が
設定されました
↓
本日23時まで
わき上げしません

※時間は電力契約モードによって異なります。

■解除するとき：もう一度わき上げ休止スイッチを押す

**ポイント**

- わき上げ休止は、満タンわき増しや停止日数が設定されたり、時刻や電力契約モードを変更したりすると、自動的に解除されます。
- 夜間時間帯になると自動的に解除されます。
  注.夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- 夜間時間帯は操作できません。

# わき上げ停止日数

旅行などで数日間お湯を使用しないときに給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約できます。

●わき上げ停止日数の決めかた

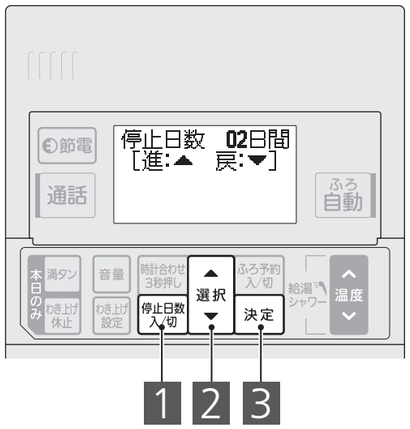
例）10月2日に出発し、5日に帰宅する3泊4日の旅行の場合
帰宅日の朝からお湯を使用するための設定例

| 設定日 | 出発日（10月2日） | 前日（10月1日） 注 |
|---|---|---|
| 設定日数 | 3日間<br>2日～4日の3日間停止 | 4日間<br>1日～4日の4日間停止 |

注.前日に設定する場合は、出発日にお湯を使用できません。

●設定範囲

2～15日／長期停止




**1** 停止日数入/切 を押す

停止日数 02日間［進:▲ 戻:▼］
交互表示
停止日数 02日間［確 定: 決定 ］

**2** 選択スイッチで停止日数を設定する

停止日数 03日間［進:▲ 戻:▼］

- ▲…1日進む
- ▼…1日戻る

（押し続けると連続して変更）

**3** 決定 を押す

停止日数03日間が設定されました

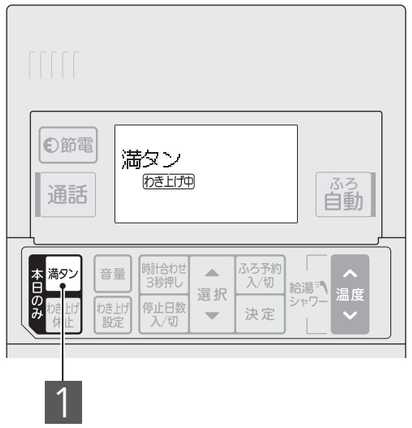
■解除するとき：もう一度停止日数スイッチを押す

ポイント

- 予定日より早く帰宅した場合は、満タンわき増しをご使用ください。
- 機器を使用しないときは、P32にしたがって給湯機の水抜きをしてください。
- 停止期間中に、ふろ予約、満タンわき増し、現在時刻、わき上げ休止を設定すると自動解除されます。
- 「長期停止」とした場合、解除するまでわき上げません。
- 長時間停電すると、停電復帰後に停止日数が解除されます。
- 停止期間中でも、外気温度が低下すると凍結防止のための運転を行うことがあります。

# 満タンわき増し

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。




**1** 満タン を押す

満タンわき増しが設定されました
▼
お湯が減るたびにわき上げます

- 「満タン」が表示され、満タンまでわき上げます。

**2** 満タンになった後は、お湯を約100L（42℃換算）使うと、わき増しを開始します。

- わき増し中は「わき上げ中」が表示されます。

■解除するとき：もう一度満タンスイッチを押す

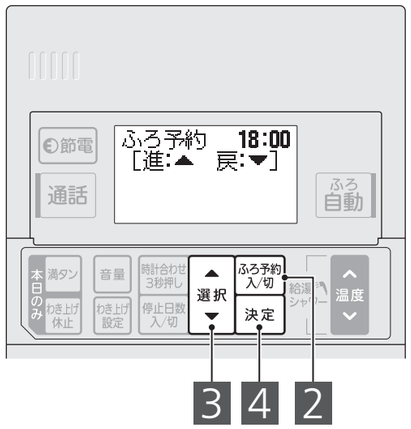
ポイント

- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯になると自動的に解除されます。

  注.夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- わき上げ休止、停止日数が設定されると、自動的に解除されます。
- 満タンわき増しは、時間帯にかかわらずタンク内をわき上げますので電気料金は割高になります。

# ふろ予約

予約した時刻に湯はりが完了します。




**1** 浴槽を確認する

①残った水を排水して、おふろの栓を閉じる
②浴槽にふたをする

**2** ふろ予約入/切 を押す

ふろ予約 18:00［進:▲ 戻:▼］
交互表示
ふろ予約 18:00［確 定: 決定 ］

- ご使用中のふろ予約時間が表示されます。

工場出荷時は18:00

**3** 選択スイッチで予約時刻を設定する

ふろ予約 20:00［進:▲ 戻:▼］

- ▲…10分進む
- ▼…10分戻る

（押し続けると連続して変更）

**4** 決定 を押す

予約が20:00 に設定されました
▼
おふろの栓はしましたか

**5** 予約時刻になると湯はりが完了し、表示が現在時刻に変わります。

■解除するとき：もう一度ふろ予約スイッチを押す

ポイント

- 各スイッチ操作は約1分間以内に行なってください。
- **予約時刻直前に設定すると、予約時刻に湯はりが完了しません。1時間以上前に設定してください。**
- **浴槽に残り湯がある状態でふろ予約をすると、予約時刻に湯はりが完了しません。残り湯を排水してから設定してください。**
- 「ふろ予約」は、湯はりが終わると自動的に解除されますので、使用するごとに設定してください。
- 「ふろ予約」中に停電があると、設定した時間に湯はりが完了しない場合や、予約が解除される場合があります。

# 音声ガイダンス

リモコンの音声ガイダンスの音量を変えたり、切ることができます。通話していないときに行なってください。

●設定範囲

消音／最小／標準／最大
工場出荷時は標準、各リモコンごとに設定可能

浴室リモコンで説明しています。

**1** 音量 を押す

ガイダンス音量【標準:▂▄】
ご使用中の設定

- 現在設定されている声の大きさをお知らせします。

**2** 音量確認（手順1）後、約6秒間以内に

音量 を押す

ガイダンス音量【最大:▂▄▆】
変更後の設定
▼
音声が最大に設定されました

- 押すごとに、声の大きさをお知らせします。

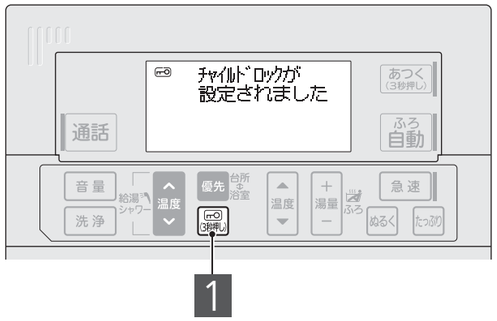
標準 → 最大 → 消音 → 最小 →

ポイント

- 通話中に音量スイッチを押すと、通話音量の変更となります。
- 消音にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

# チャイルドロック

誤操作防止のため、通話以外のスイッチ操作をできなくします。




**1** (3秒押し) **を3秒以上押す**

チャイルドロックが
設定されました

- 画面に マークが表示されます。

■解除するとき：チャイルドロックを3秒以上押す

**ポイント**

- チャイルドロック中でも通話、呼出はできます。
- チャイルドロックは浴室リモコンのみ設定可能です。
- チャイルドロック中でも台所リモコン、サブリモコンの操作は可能です。

# 残湯量表示

タンク内の残湯量（45℃以上のお湯の量）をリモコンに表示します。お湯が少なくなったときは、満タンわき増しを使用してください。

| 残湯量表示 | | | | | 注1 | 注2 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| お湯の量 | 460L機種 | 330L<br>以上<br>(ほぼ満タン) | 330L<br>〜<br>250L | 250L<br>〜<br>150L | 150L<br>〜<br>0L | 残湯なし<br>(湯切れ) |
| お湯の量 | 370L機種 | 290L<br>以上<br>(ほぼ満タン) | 290L<br>〜<br>220L | 220L<br>〜<br>150L | | |
| ふろ機能の制約 | ふろ自動<br>高温さし湯<br>たっぷり | 使用可(※) | | | | 使用不可 |
| ふろ機能の制約 | ぬるく | 使用可 | | | | |

※使用状況によっては湯量がたりなくなり、動作が途中で停止する場合があります。

注1.50L未満になると残湯量表示が点滅し、残り使用可能時間が表示されます。

おまかせ 18:30 ↔ 使用可能時間 シャワー 5分未満

注2.本日の使用湯量が表示されます。
節電モード設定中や、ピーク停止「入」設定中は、設定の解除をおすすめするガイダンスが表示されます。

おまかせ 18:30 → タンクのお湯がなくなりました → 本日の使用湯量 550L
→ わき上げ中です お待ち下さい → おまかせ 18:30

**ポイント**

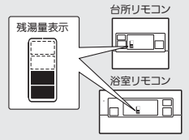
- 残湯量表示の「■」は45℃以上のお湯を表しています。表示が消えてもタンク内に残っている45℃未満のお湯は使用できます。
- **通常、わき上げ終了後、お湯を使用するまで残湯量表示は変わりません。ただし、自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。**
- タンク内のお湯の温度が下がっているときや湯はりなどで、お湯をたくさん使用する場合は、一度に複数個の残湯量表示が減ることがあります。
- 残湯量表示が4つ点灯していても、わき上げをすることがあります。
- 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示がかわります。

| 残湯量表示 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 点滅 | | | | |
| お湯の量 | 残湯なし | 50L<br>未満 | 50L<br>〜<br>150L | 150L<br>〜<br>250L | 250L<br>〜<br>330L | 330L以上<br>(ほぼ満タン) |

※460L機種の場合

**朝、リモコンの残湯量表示が満タンにならない場合**

- この給湯機は、過去のお湯の使用量を『学習』し、最適な湯量を自動でわかします。お湯の使用量が少ないときは、不要なわき上げを防ぐため、タンク全量をわき上げない場合があります。「満タン」表示にしたい場合は、「多め」に設定してください。




# 節電モード

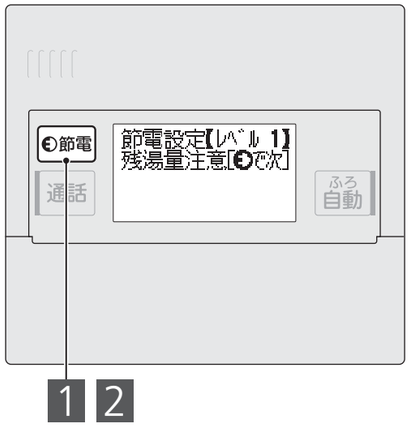
わき上げ量を抑えることによって、より省エネになるようにわき上げを行います。

●設定範囲

| 節電モード | 動作内容 |
|---|---|
| 切 | 設定されているわき上げモード（P17）にしたがってわき上げます。 |
| レベル1<br>※ | 「おまかせ（節電モード切）」より節約するようにわき上げます。 |
| レベル2<br>※ | 「レベル1」より節約するようにわき上げます。 |

※タンクのお湯がなくなる場合は、「切」に変更することをおすすめします。

工場出荷時は切




**1** **節電 を押す**

節電設定【 切 】
【変更：節電】

- 現在の設定が表示されます。

**2** **手順1の後、約7秒以内に**
**節電 を押す**

節電設定【レベル 1】
残湯量注意【で次】
→ 節電モードがレベル1に設定されました
→ 電力削減量の目安 約 260Wh/日

- 押すごとにモードが移動します。

切 → レベル1 → レベル2

**ポイント**

- **以下の場合は設定できません。また、以下の設定に変更したときは、節電モードは自動的に解除されます。**
  - **わき上げモード：「多め」設定時**
  - **使用湯量モード：「入」設定時**
- 「切」設定時は、電力削減量の目安は表示されません。
- 設置後２週間は、わき上げ消費電力量を学習中のため、電力削減量の目安は表示されません。
- レベル1、レベル2に設定時は、すべてのリモコンに「」が表示されます。
- 電力削減量は目安です。同じ使用環境にて「おまかせ」動作と比較した場合のわき上げ消費電力削減量を過去２週間のわき上げ消費電力量の実績より推測した表示であり削減量ではありません。
- お湯の使用状況によって、昼間時間帯でもわき上げを行います。
- お湯の使用量が少ないときは、ムダを防ぐため、満タンまでわき上げないことがあります。

# お湯チェック

お湯の使用可能時間や、当日、過去、週平均の使用湯量※を表示させることができます。

※お湯の使用量（エネルギー）を42℃で換算した給湯使用可能時間、使用湯量で表示します。

**1** **節電 を3秒以上押す**

1.給湯使用可能時間
▼
使用可能時間 シャワー 約20分

- 給湯使用可能時間が表示されます。

**2** **節電 を押す**

2.使用湯量
▼
本日 550L
週平均 440L

- 本日、週平均の使用湯量が表示されます。

**3** **節電 を押す**

3.過去の使用湯量
▼
本日 550L
前日 240L
▼
2日前 470L
3日前 380L
▼
⋮

- 本日、前日、2日前〜7日前の使用湯量が表示されます。

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき
節電以外のスイッチを押す
または上記手順3に続けて節電スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

**ポイント**

- 給湯使用可能時間は目安です。湯はりや食器洗浄、シャワーを行うときは、下表を参考としてください。

| 主な給湯使用例 | 表示 |
|---|---|
| 浴槽湯はり | 約15分以上 |
| 食器洗浄・洗面給湯 | 約15分以上 |
| シャワー給湯（1回分） | 約10分以上 |

■試算条件（当社想定）
タンク内温度：80℃、給水温度：5℃、湯はり温度：42℃、給湯温度：42℃、流量：12L/分、
ふろ湯量：180L、食器洗浄・洗面給湯：150L、シャワー給湯（1回分）：80L、
ふろ配管（架橋ポリエチレン配管）：13A、5m5曲がり
※使用湯量の目安は、浴槽の大きさ、お湯の使い方などによって変わります。

浴室リモコン
# スマート機能

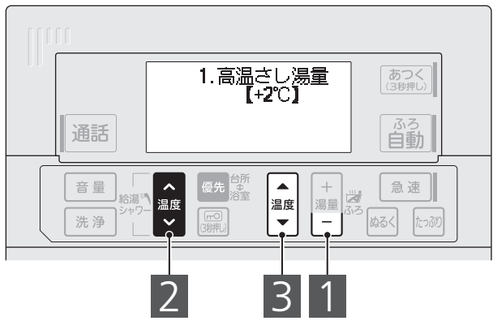


## 1.高温さし湯の量

「高温さし湯量」を変更できます。

●設定範囲

50L :約50Lのお湯が出ます。
+2℃:湯はりをするときに設定した温度・湯量を約2℃上げるために必要な量の熱いお湯が入ります。
工場出荷時は+2℃




1 湯量 − を3秒以上押す
1.高温さし湯量【 2℃】
ご使用中の設定

2 ふろ温度スイッチで50L ／+2℃を決める
- ▲…50Lになる
- ▼…+2℃になる

1.高温さし湯量【 50L】
変更後の設定

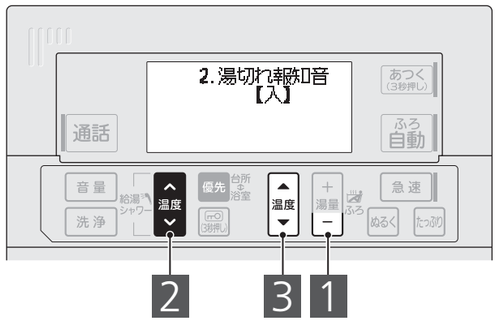
■通常表示(時刻表示)へ戻すとき :「−」を押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

## 2.湯切れ報知音

お湯が少なくなったとき、または、お湯がなくなったときに報知音・アナウンスを鳴らしてお知らせします。

●設定範囲

入:報知音あり／切:報知音なし
工場出荷時は入




1 湯量 − を3秒以上押す
1.高温さし湯量【 2℃】

2 給湯温度スイッチ ▲ で「2.湯切れ報知音」を選ぶ
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

2.湯切れ報知音【入】
ご使用中の設定

3 ふろ温度スイッチで入／切を決める
- ▲…入になる
- ▼…切になる

2.湯切れ報知音【切】
変更後の設定

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき :「−」を押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

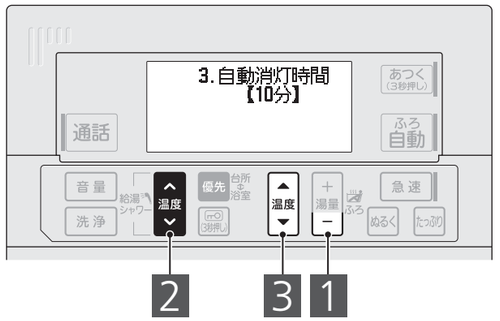
ポイント
- **通常は「入」でご使用ください。**
- 台所リモコンでも個別に湯切れ報知音の設定ができます。(P25)

## 3.自動消灯時間

浴室リモコンの画面を待機表示(時計のみ表示)させるまでの時間を変更できます。給湯機を使用しないまま設定時間が経過すると、画面が待機表示に切り替わります。

●設定範囲

4段階(1分／5分／10分／30分)
工場出荷時は10分




1 湯量 − を3秒以上押す
1.高温さし湯量【 2℃】

2 給湯温度スイッチ ▲ で「3.自動消灯時間」を選ぶ
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

3.自動消灯時間【10分】
ご使用中の設定

3 ふろ温度スイッチで時間を決める
- ▲…時間が増える
- ▼…時間が減る

3.自動消灯時間【 5分】
変更後の設定

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき :「−」を押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント
- 台所リモコンでも個別に自動消灯時間の設定ができます。(P25)
- 画面が消灯中でも以下の場合はバックライトが点灯し、画面が復帰します。

①スイッチ操作時
(ふろ機能、インターホン、音声ガイダンス動作時を含む)
②シャワー・蛇口給湯時※

※②の場合、待機表示と連動させずにバックライトが点灯しないように設定できます。
4.バックライトモードを「モード2」に設定してください。

- 待機表示中でも給湯温度50℃または60℃設定時は「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。

## 4.バックライトモード

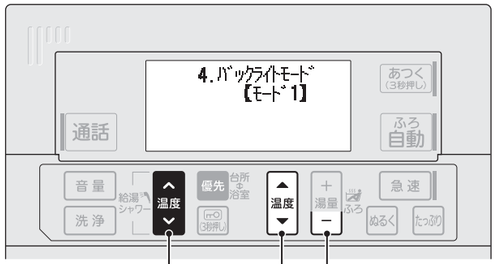
バックライトの点灯／消灯の切り替え条件を3つのモードから選べます。

●設定範囲

モード1／モード2／モード3(下表参照)
工場出荷時はモード1

バックライト消灯・点灯条件

| モード | 消灯条件 | 点灯条件 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | スイッチ操作時 | 音声ガイダンス動作時 | シャワー・蛇口給湯時 |
| モード1 | 3.自動消灯時間と連動 | ○ | ○ | ○ |
| モード2 | | ○ | ○ | × |
| モード3 | − | 常時点灯 | | |




1 湯量 − を3秒以上押す
1.高温さし湯量【 2℃】

2 給湯温度スイッチ ▲ で「4.バックライトモード」を選ぶ
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

4.ﾊﾞｯｸﾗｲﾄﾓｰﾄﾞ【ﾓｰﾄﾞ1】
ご使用中の設定

3 ふろ温度スイッチでモードを決める
- ▲…モードが1つ進む
- ▼…モードが1つ戻る

4.ﾊﾞｯｸﾗｲﾄﾓｰﾄﾞ【ﾓｰﾄﾞ2】
変更後の設定

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき :「−」を押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント
- 台所リモコンでも個別にバックライトモードの設定ができます。(P26)

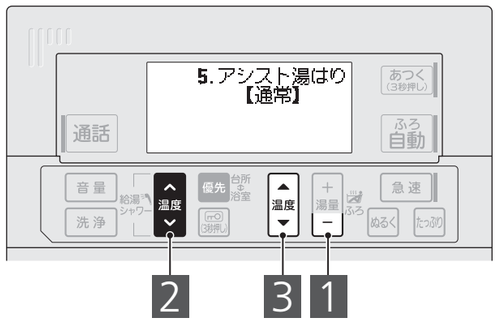
## 5.アシスト湯はり

「アシスト湯はり」を設定できます。

アシスト湯はりとは…
湯はり中にヒートポンプユニットでわき上げたお湯と、タンク内で貯湯されているお湯、水道からの水を混ぜて、リモコンで設定した湯はり温度のお湯を給湯することで、湯切れを予防しながら効率よく湯はりする機能です。

●設定範囲

通常：アシスト湯はりあり／禁止：アシスト湯はりなし
工場出荷時は通常




1 湯量 ー を3秒以上押す → 1.高温さし湯量【2℃】

2 給湯温度スイッチ ▲ で「5.アシスト湯はり」を選ぶ → 5.アシスト湯はり【通常】（ご使用中の設定）
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

3 ふろ温度スイッチで通常／禁止を決める → 5.アシスト湯はり【禁止】（変更後の設定）
- ▲…通常になる
- ▼…禁止になる

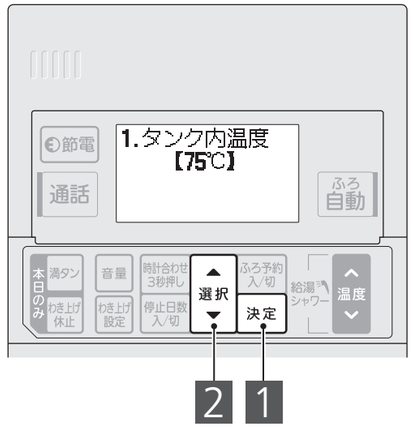
■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：ー を押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

ポイント
- **通常は「通常」でご使用ください。**

台所リモコン
# スマート機能

## 1.タンク内温度
## 2.給湯使用量

現在のタンク内のお湯の温度や昨日の給湯使用量を表示させることができます。




1 決定 を3秒以上押す → 1.タンク内温度【75℃】
- タンク内温度が表示されます。

2 選択スイッチ ▲ で「2.給湯使用量」を選ぶ → 2.給湯使用量【440L】
- 給湯使用量が表示されます。
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：決定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

ポイント
- **お湯の使用量（エネルギー）を42℃で換算した給湯量で表示し、毎朝、夜間時間帯終了後に更新を行います。**
- 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「240L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L（42℃換算）使用したことを表しています。

## 3.湯切れ報知音

お湯が少なくなったとき、または、お湯がなくなったときに報知音・アナウンスを鳴らしてお知らせします。

●設定範囲

入：報知音あり／切：報知音なし
工場出荷時は入

1 決定 を3秒以上押す → 1.タンク内温度【75℃】

2 選択スイッチ ▲ で「3.湯切れ報知音」を選ぶ → 3.湯切れ報知音【入】（ご使用中の設定）
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

3 給湯温度スイッチで入／切を決める → 3.湯切れ報知音【切】（変更後の設定）
- ▲…入になる
- ▼…切になる

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：決定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

ポイント
- **通常は「入」でご使用ください。**
- 浴室リモコンでも個別に湯切れ報知音の設定ができます。（P22）

## 4.自動消灯時間

台所リモコンの画面を待機表示（時計のみ表示）させるまでの時間を変更できます。給湯機を使用しないまま設定時間が経過すると、画面が待機表示に切り替わります。

●設定範囲

4段階（1分／5分／10分／30分）
工場出荷時は10分

1 決定 を3秒以上押す → 1.タンク内温度【75℃】

2 選択スイッチ ▲ で「4.自動消灯時間」を選ぶ → 4.自動消灯時間【10分】（ご使用中の設定）
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

3 給湯温度スイッチで時間を決める → 4.自動消灯時間【5分】（変更後の設定）
- ▲…時間が増える
- ▼…時間が減る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：決定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

ポイント
- 浴室リモコンでも個別に自動消灯時間の設定ができます。（P23）
- 画面が消灯中でも以下の場合はバックライトが点灯し、画面が復帰します。

①スイッチ操作時
（ふろ自動、インターホン、音声ガイダンス動作時を含む）
②シャワー・蛇口給湯時※

※②の場合、待機表示と連動させずにバックライトが点灯しないように設定できます。
5.バックライトモードを「モード2」に設定してください。

- 待機表示中でも給湯温度50℃または60℃設定時は「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。

## 5.バックライトモード

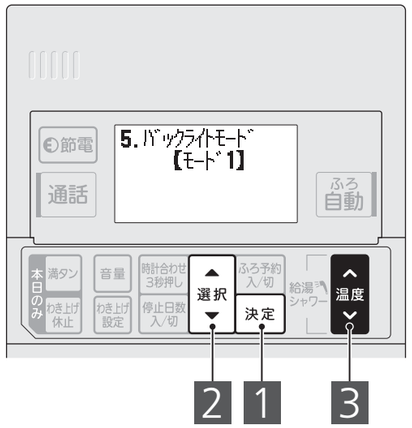
バックライトの点灯／消灯の切り替え条件を3つのモードから選べます。

●設定範囲

モード1／モード2／モード3（下表参照）
工場出荷時はモード1

バックライト消灯・点灯条件

| モード | 消灯条件 | 点灯条件 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | スイッチ操作時 | 音声ガイダンス動作時 | シャワー・蛇口給湯時 |
| モード1 | 4.自動消灯時間と連動 | ○ | ○ | ○ |
| モード2 | | ○ | ○ | × |
| モード3 | − | 常時点灯 | | |




1 決定 を3秒以上押す
→ 1.タンク内温度【75℃】

2 選択スイッチ［▲］で「5.バックライトモード」を選ぶ
- ［▲］…1つ進む
- ［▼］…1つ戻る

→ 5.ﾊﾞｯｸﾗｲﾄﾓｰﾄﾞ【ﾓｰﾄﾞ1】
ご使用中の設定

3 給湯温度スイッチでモードを決める
- ［∧］…モードが1つ進む
- ［∨］…モードが1つ戻る

→ 5.ﾊﾞｯｸﾗｲﾄﾓｰﾄﾞ【ﾓｰﾄﾞ2】
変更後の設定

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：決定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

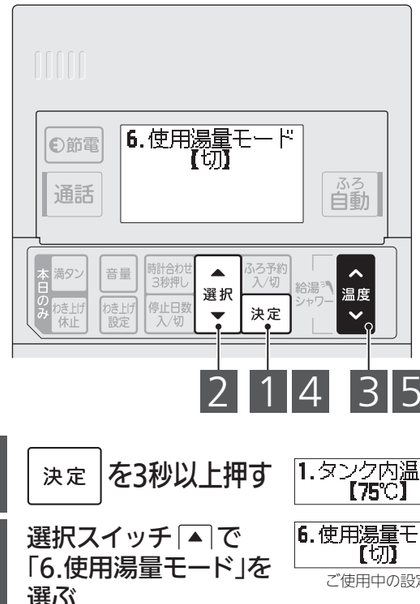
ポイント
- 浴室リモコンでも個別にバックライトモードの設定ができます。（P23）

## 6.使用湯量モード

お客さまが使用する分だけ設定し、わき上げることができます。

●設定範囲

入（200L～1000L注、50L刻み）／切
工場出荷時は切
注.設定湯量の上限はタンク容量によって異なります。
タンク容量370L機種は800L、460L機種は1000Lです。




1 決定 を3秒以上押す
→ 1.タンク内温度【75℃】

2 選択スイッチ［▲］で「6.使用湯量モード」を選ぶ
- ［▲］…1つ進む ［▼］…1つ戻る

→ 6.使用湯量モード【切】
ご使用中の設定

3 給湯温度スイッチで入／切を決める
- ［∧］…入になる ［∨］…切になる

→ 6.使用湯量モード【入】
使用湯量の設定は決定押して下さい

〈湯量を設定するときは〉

4 決定 を押す
→ 6-1.使用湯量【750L】

5 給湯温度スイッチで湯量を決める
- ［∧］…50L増える ［∨］…50L減る
- わき上げモード表示位置に設定湯量が表示されます。

→ 6-1.使用湯量【700L】

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：決定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

ポイント
- **お湯チェックの使用湯量を参考にして少し多めの湯量を設定してください。**（P21）
- 設定湯量は、蛇口やシャワーで使う湯量の目安です。
- 前日の残り湯や放熱などの影響により、設定湯量分のお湯が使えないことがあります。残湯量表示を確認してお湯をご使用ください。
- わき上げモードを「おまかせ」「多め」に戻すときはP17を参照してください。使用湯量モードを「切」にする方法でも、以前設定していたわき上げモード（「おまかせ」または「多め」）に戻ります。
- お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。

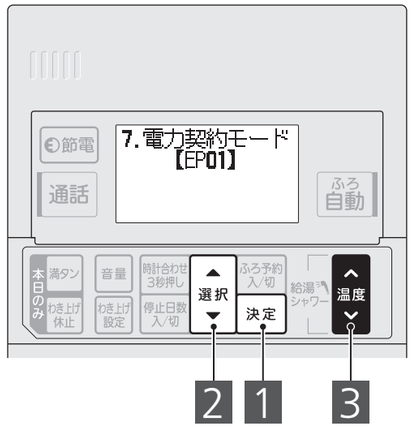
## 7.電力契約モード

●設定範囲

EP01～EP11（下表参照）
工場出荷時はEP01

電力契約モードの内容（平成24年9月現在）

| | |
|---|---|
| EP01 | ●東京電力：電化上手 ●関西電力：はぴeタイム、はぴeプラン ●沖縄電力：Eeらいふ |
| EP02 | ●中部電力：Eライフプラン |
| EP03 | ●中国電力：ファミリータイム |
| EP04 | ●北陸電力：エルフナイト10プラス ●九州電力：電化deナイト |
| EP05 | ●東北電力：やりくりナイト8 ●東京電力：おトクなナイト8 ●北陸電力：エルフナイト8 ●中部電力：タイムプラン ●関西電力：時間帯別電灯 ●四国電力：電化Deナイト、得トクナイト ●九州電力：時間帯別電灯［8時間型］ ●沖縄電力：時間帯別電灯 |
| EP06 | ●東北電力：やりくりナイト10、やりくりナイトS ●東京電力：おトクなナイト10 ●北陸電力：エルフナイト10 ●九州電力：よかナイト10 |
| EP07 | ●中国電力：エコノミーナイト |
| EP08 | ●北海道電力：ドリーム8、ドリーム8エコ（A：夜間時間帯22時～6時） |
| EP09 | ●北海道電力：ドリーム8、ドリーム8エコ（B：夜間時間帯23時～7時） |
| EP10 | ●北海道電力：ドリーム8、ドリーム8エコ（C：夜間時間帯24時～8時） |
| EP11 | ●北海道電力：eタイム3 |




1 決定 を3秒以上押す
→ 1.タンク内温度【75℃】

2 選択スイッチ［▲］で「7.電力契約モード」を選ぶ
- ［▲］…1つ進む
- ［▼］…1つ戻る

→ 7.電力契約モード【EP01】
工場出荷時の設定

3 給湯温度スイッチでモードを決める
- ［∧］…1つ進む
- ［∨］…1つ戻る

→ 7.電力契約モード【EP03】
変更後の設定

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：決定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

ポイント
- 必ず電力契約モードが正しく設定されていることを確認してください。
- 電力契約を変更した場合は、電力契約モードを再設定してください。

## 8.ピーク停止

毎日の朝晩を除く昼間時間帯のわき上げを停止することができます。電力契約によりわき上げを停止する時間帯は、異なります。わき上げ停止時間帯は、わき増しが必要な場合でもわき上げを行わないため、残湯量表示に注意してお湯をご使用ください。

例：電力契約モードが「EP01」の場合

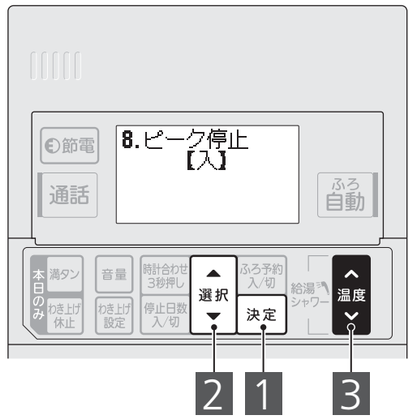
わき上げ停止時間帯

| 電力契約モード | 時間帯※1 |
|---|---|
| EP01/03/04 | 10～17時 |
| EP02 | 9～17時 |
| EP05/06/07 ※2 | 13～16時 |
| EP08/09/10 | 16～18時 |
| EP11 | 13～18時 |

※1.わき上げ停止時間帯の開始約5分前から終了約5分経過後までが停止時間帯です。
※2.2時間帯別（昼と夜の区別のみ）の電力契約では13～16時のわき上げを停止します。

●設定範囲

入／切
工場出荷時は切




1 決定 を3秒以上押す
→ 1.タンク内温度【75℃】

2 選択スイッチ［▲］で「8.ピーク停止」を選ぶ
- ［▲］…1つ進む
- ［▼］…1つ戻る

→ 8.ピーク停止【切】
ご使用中の設定

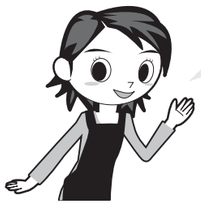
3 給湯温度スイッチでモードを決める
- ［∧］…1つ進む
- ［∨］…1つ戻る

→ 8.ピーク停止【入】
変更後の設定

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：決定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

ポイント
- 必ず電力契約モードが正しく設定されていることを確認してください。
- 曜日に関らずわき上げ停止時間帯は変わりません。
- 満タンわき増しを設定している場合は、停止時間帯でもわき上げを行います。
- ピーク停止を「入」に設定した場合は、わき上げ停止時間帯になると、リモコンに「ピーク停止」と表示されます。（満タンわき増し、わき上げ休止、停止日数の設定中は除きます。）
- 電力契約を変更した場合は、電力契約モードを再設定してください。

# お手入れと点検



●安全・快適にお使いいただくため、
定期的に行なってください。

点検時に異常がある場合は、
給水配管専用止水栓を閉じ、漏電遮断器の電源レバーを「切」にして
据付工事店（販売店）へご連絡ください。

## 逃し弁

水漏れ点検と動作点検を行います。
わき上げをしていないときに行なってください。

頻度：年に2～3回程度

1 **動作点検**

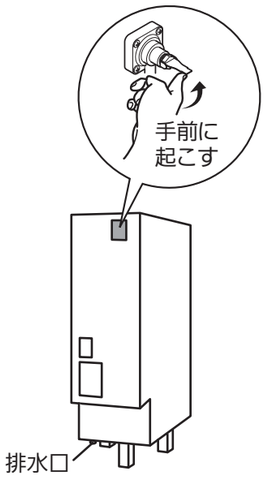
逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水（お湯）が出ることを確認する

2 逃し弁のレバーを戻す

3 **水漏れ点検**

排水口から水（お湯）が出ていないことを確認する

水（お湯）が出ている場合は逃し弁操作窓を開け、
逃し弁のレバーを数回動かしてください。
排水口が見えないときは、脚部カバーをはずしてください。（P 9）




| ⚠警告 | 点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因） |
|---|---|

| ⚠注意 | 逃し弁を点検する（配管水漏れによるやけどの原因） |
|---|---|

## 漏電遮断器

電源供給中に行なってください。

頻度：年に2～3回程度

1 操作窓を開け、テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

2 必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

| ⚠警告 | 漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因） |
|---|---|

## 配管の水漏れ 保温材破損

頻度：年に2～3回程度

配管の水漏れや保温材破損がないか点検します。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

ポイント

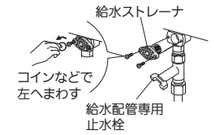
- 保温材の点検は、冬期前には必ず行なってください。
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

## 給水ストレーナのお手入れ

頻度：日常

お湯が出ない場合や湯はり時間が長い場合は、給水ストレーナのゴミを取り除いてください。

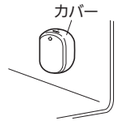
1 脚部カバーを外す（P 9）
2 給水配管専用止水栓を閉じる
3 逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
4 給水ストレーナを外し、歯ブラシなどでゴミを取り除く
5 掃除が終わったら、給水ストレーナを取り付け、逃し弁のレバーを戻し、給水配管専用止水栓を開く




## 浴槽アダプター

頻度：日常

1 浴槽のお湯を排水した後に
浴槽アダプターのカバーを水洗いする




ポイント

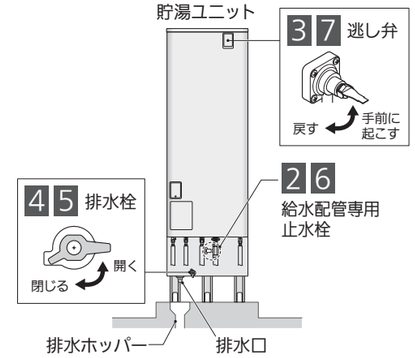
- お手入れは、こまめに行なってください。
- 洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤を使用してください。（中性洗剤以外を使用すると故障の原因になります。）
- 浴槽アダプターのカバーを外さないでください。

## 貯湯タンク

頻度：年に2～3回程度

タンクの下部にたまった汚れを排水します。
わき上げをしていないときに行なってください。

1 脚部カバーを外す（P 9）
2 給水配管専用止水栓を閉じる
3 逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
4 排水栓を約1～2分間開く
タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
5 約1～2分間たったら、排水栓を閉じる
6 給水配管専用止水栓を開く
7 排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す




| ⚠警告 | 排水時はお湯に触らない（やけどの原因） |
|---|---|

# 定期点検（有料）

●給湯機を少しでも長くお使いいただくため、
3年に1度定期点検（有料）を行なってください。

定期点検については、据付工事店（販売店）または「修理窓口（P39）」へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

- 定期点検を怠ると家屋・家財などの損害に結びつく場合があります。

## 定期点検の主な内容

| | |
|---|---|
| 据付状態 | 設置面（万一、水漏れが生じた場合、床下や下層階への水の浸入を防止するために、排水・防水できるようになっているか）、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認 |
| 機能部品 | 電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※などの点検及び消耗部品の交換<br>※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。 |
| 清　掃 | タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、給湯機のストレーナの掃除、機能部品の掃除 |

- 長期間（10年程度）使用されている場合は、毎年定期点検をお受けください。

## 消耗部品について

下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

- ●減圧弁
- ●電磁弁
- ●パッキン類
- ●逃し弁
- ●切替弁
- ●混合弁
- ●ポンプ

（使用水質によって3年程度で消耗・劣化しやすい場合があります。）

# 停電・断水時

停電・断水時は主に以下のことができます。

| | 給湯 | ふろ機能 | わき上げ |
|---|---|---|---|
| 停電時 | ○(注) | × | × |
| 断水時 | × | × | ○ |

(注)詳細は、下記 ポイント の「●停電中の給湯」を参照ください。

## ■停電したとき

この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げモード」などは記憶されています。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

- ●停電終了後、リモコンの設定は停電前の設定に戻ります。
- ●わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

ポイント

- ●正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
- ●湯はり中の停電

〈停電時間20分以内〉
自動的に湯はりを再開します。

〈停電時間20分を越えたとき〉
浴槽の湯を全部抜いてから、再度、ふろ自動スイッチを押して湯はりを行なってください。

- ●停電中の給湯

**⚠警告** 停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する(やけどの原因)

- •停電時はタンクにお湯があれば給湯できますが、温度調節ができないため、設定温度と異なる温度のお湯が蛇口から出ることがあります。高温のお湯が出る場合もありますので、やけどに注意してください。
- •ふろ機能(湯はりなど)中に停電があると、設定温度と異なる低温のお湯が蛇口から出ることがあります。
- •湯水混合栓のハンドルは湯側を全開にして使用しないでください。

## ■断水したとき(水が濁る)

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じると給湯機からのお湯が止まります。)閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯ユニットの給水ストレーナ部が目詰まりし、出湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。

③断水が復旧したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

## ■給湯を止めるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

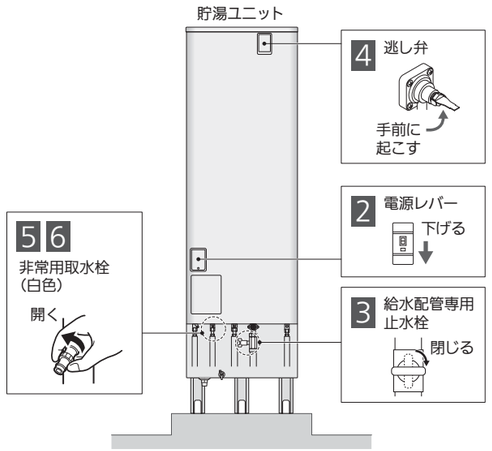
ポイント

- ●パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

# 非常時の取水方法

タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。

**⚠警告** 取水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない(やけどの原因)




**1 貯湯ユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す**
**(外しかた:P 9 )**

**2 貯湯ユニットの電源レバーを下げ、「切」にする**

- ●電気の供給を停止します。

**3 給水配管専用止水栓を閉じる**

- ●貯湯ユニットへの給水を止めます。

**4 貯湯ユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす**

- ●タンクへ空気を取り入れます。

**5 非常用取水栓(白色)を開く(1回転〜1回転半まわす)**

- ●タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

**6 非常用取水栓(白色)を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける**

ポイント

- ●再び使用するときは、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓(白色)が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備) P 33 」を行なってください。(必ず機器を満水にしてからご使用ください。)

# 仕様、給湯機の基本原理

## ■仕様

| | | 一般地向け | | |
|---|---|---|---|---|
| システム | 形名 | SRT-HP37C7 | SRT-HP37CD7 | SRT-HP46C7 |
| | 適用電力制度 | 季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯(通電制御型) | | |
| | 定格電圧(周波数) | 単相 200V(50-60Hz共用) | | |
| | 最大電流 | 16A | | 17A |
| | 沸上げ温度範囲 | 約65℃〜約90℃ | | |
| | 冬期高温沸上げ温度 | 90℃ | | |
| | 着霜期高温沸上げ温度 | 90℃ | | |
| | 年間給湯効率(JIS)※7 注1 | 3.0 | | |
| | 給水器具認証書番号 | W009-20020-100 | | |
| | 給水器具認証型番 | SRT-HP37C7 | SRT-HP37C7 | SRT-HP46C7 |
| ヒートポンプユニット | 形名 | SRT-HPU45A7 | | SRT-HPU60A7 |
| | 種類 | 屋外専用 | | |
| | 設置可能最低外気温度 | マイナス10℃ | | |
| | 寸法(高さ×幅×奥行き) ※配管カバー寸法 | 638×800(+70※8)×285(+16)mm | | 715×809(+70※8)×300(+16)mm |
| | 質量 | 45kg | | 49kg |
| | 中間期標準加熱能力/消費電力※2※3 | 4.5kW/1.01kW | | 6.0kW/1.34kW |
| | 中間期標準運転電流※3 | 5.6A | | 7.2A |
| | 冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※4 | 4.5kW/1.50kW | | 6.0kW/2.00kW |
| | 運転音(中間期※3/冬期※4)※6 | 38dB/43dB | | 42dB/45dB |
| | 冷媒名/封入量 | $CO_2$(R744)/0.78kg | | $CO_2$(R744)/0.82kg |
| | 設計圧力 | 高圧:14MPa/低圧:8.5MPa | | |
| 貯湯ユニット | 形名 | SRT-HPT37C7 | SRT-HPT37CD7 | SRT-HPT46C7 |
| | タンク容量 | 370L | | 460L |
| | 種類 | 屋外形 | 屋内形・屋外形 | 屋外形 |
| | 設置可能最低外気温度 | マイナス10℃ | | |
| | 寸法(高さ×幅×奥行き) | 1830×630×760mm | | 2170×630×760mm |
| | 質量(満水時) | 62kg(432kg) | 64kg(434kg) | 69kg(529kg) |
| | 通常使用圧力/水側最高使用圧力 | 170kPa(減圧弁圧力)/193kPa(逃し弁圧力) | | |
| | 制御用消費電力 | 0.007kW | | |
| | 凍結防止ヒータ消費電力 | 0.036kW | | |

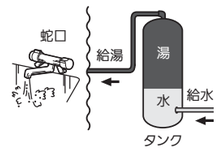
※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2 沸上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
※3 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸上げ温度65℃
※4 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度90℃
※5 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)-7℃/-8℃、水温5℃、沸上げ温度90℃
※6 運転音はJIS C9220:2011に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※7 算出条件:沸上げモード「おまかせ」での着霜期給湯モード性能試験時の沸上げ温度70℃、冬期給湯モード性能試験時の沸上げ温度65℃

注1 年間給湯効率(JIS)は日本工業規格JIS C9220:2011に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。
年間給湯効率(JIS)=1年間で使用する給湯に係る熱量÷1年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
注2 夜間消費電力量比率(JIS C9220 冬期給湯モード性能試験条件時):80%
注3 給湯モード性能試験時の供試機の運転設定方法は、貯湯ユニットの前面カバーを開け、前面カバー裏の結線図内でご確認ください。
(必ず、電源ブレーカーを「切」にしてから前面カバーを開けてください。)
ただし、上記試験を行わない一般のお客さまは、前面カバーを開けないでください。

## ■給湯機の基本原理

### ①自動給水・押上げ方式です

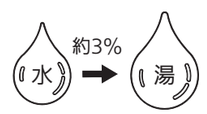
蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。




### ②水は体積膨張します

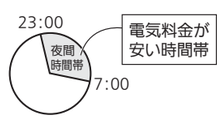
水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。

例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃がす目的で逃し弁が取付けられます。**わき上げ中に排水口からお湯が少しずつ排水される**のは、故障ではありません。正常な動作です。




### ③主に夜間に運転を行い、わき上げます

主に夜間時間帯にタンク内のお湯をわき上げます。(お湯の使用状況により、昼間時間帯でもわき上げを行います。)




※ご契約の電力制度によって時間帯は異なります。

### ④わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします

運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出ることがあります。

### ⑤タンク貯湯式です

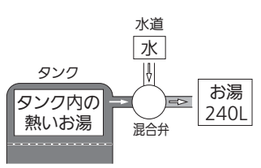
わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

### ⑥換算湯量とは

給湯使用量などで表示されるお湯の使用量は42℃換算湯量ですので、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「240L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて42℃のお湯を240L使用したことを表しています。

簡略計算式

$$42℃換算湯量[L] = タンク内使用湯量[L] \times \frac{タンク内温度[℃]-給水温度[℃]}{42[℃]-給水温度[℃]}$$



# 機器を使用しないとき

給湯機の電源を切るときや1カ月以上使用しないときは、以下の要領で給湯機の水を抜いてください。(水を抜かないと凍結により機器が破損したり、水質が変化することがあります。)

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | ●排水時はお湯に触らない(やけどの原因) |
| ⚠注意 | ●機器を使用しないときは、機器と配管内の水を抜く(凍結により機器が破損してやけどの原因)<br>●1カ月以上使用しないときは、機器と配管内の水を抜く(水質が変化する原因)<br>●タンクの熱湯を排水口から直接排水しない、タンク内の熱湯は熱いまま排水しない(やけどの原因) |

## 1 準備

(1)前日からタンクのお湯を抜くことがわかっている場合は、前日にわき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止しておく(P18)
(2)ヒートポンプユニットの配管カバーを外す(P8)
(3)貯湯ユニットに脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーも外す(P9)

## 2 タンク内のお湯を水にする

●湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。熱いお湯が出なくなったら閉じてください。

## 3 機器のエア抜き運転を行う

(1)台所リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す
●エア抜き運転中はリモコンに「エア抜き」が表示されます。

## 4 エア抜き中に電源を切る

(1)貯湯ユニットの電源レバーを「切」にする

## 5 貯湯ユニット内の水を排水する

(1)給水配管専用止水栓(⑤)を閉じる
(2)逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
(3)排水栓(④)を開く
●タンクの水(お湯)が抜けるまでに約80分かかります。
●排水ホッパーから排水があふれないように調整してください。
●排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。

## 6 排水後、機器(配管)の水抜きをする

(1)ヒートポンプユニットの水抜き栓(❶❷)を開く
(2)貯湯ユニットの水抜き栓(①～③)を開く
(3)貯湯ユニットの給水ストレーナ(⑥)を外し、逆止弁の解除ボタン(⑥)を押す
●容器などで受けて排水します。
●水(お湯)が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。
●確実に抜かないと凍結により機器が破損したり、エラーが表示される場合があります。

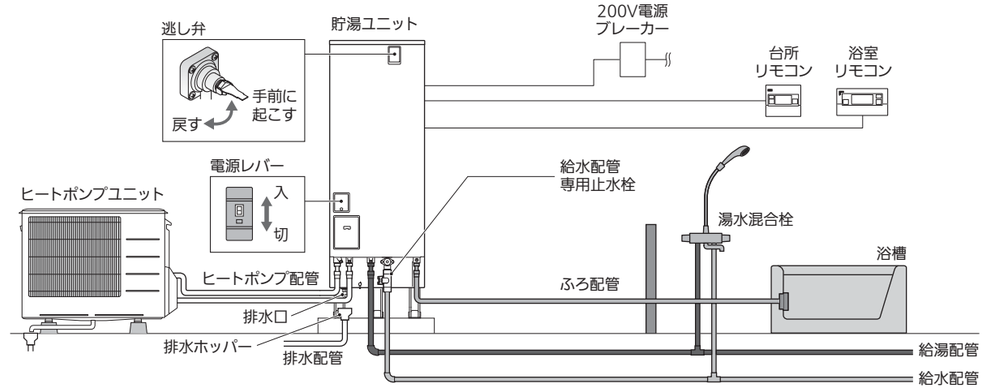
## 7 水抜き完了後の処置

(1)水抜き完了後、1時間程度放置してから水抜き栓、排水栓、逃し弁を閉じ、給水ストレーナを取り付ける
(2)手順1(2)(3)で外した配管カバー、脚部カバーを取り付ける

**ポイント**

●再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備) P33 」を行なってください。
●厳寒期は排水中に凍結し、機器が破損する場合があります。外気温が0℃以上の環境で排水・水抜きを行なってください。0℃未満の環境では満水状態で電源を入れたままにしておいてください。

逃し弁、電源レバー取付位置




水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置

ヒートポンプユニット




水抜き栓の操作

❶B側水抜き栓
❷水熱交換器水抜き栓
開く

※水抜き栓を開くときは❶→❷の順に開いてください。

貯湯ユニット

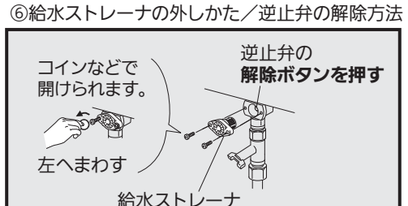



水抜き栓の操作

①ヒートポンプ配管用
②給湯配管用
③ふろ配管用
開く

排水栓、給水配管専用止水栓の操作

⑥給水ストレーナの外しかた／逆止弁の解除方法




※凍結による機器破損を防ぐため、確実に逆止弁の解除ボタンを押してください。

エア抜き運転




台所リモコン
選択スイッチ「▲」「▼」
同時3秒押し





# 使いはじめ(準備)

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、給湯機の水抜き(P32)をしてから次の手順を行なってください。

**※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。**

## 1 以下のことを確認する

●貯湯ユニットの電源レバー:「切」
●給湯機の水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ:「閉」
●すべての蛇口(湯水混合栓):「閉」

## 2 機器を満水にする

(1)逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
(2)給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
(3)機器が満水になると、貯湯ユニットの排水口から水が出ます
(満水までの目安:約30分)
●排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
●水が出ない場合は、200V電源ブレーカーを「入」にし、漏電遮断器の電源レバーを「入」にして約30秒間放置した後、電源レバーと200V電源ブレーカーを「切」にしてください。
(4)満水確認後、逃し弁のレバーを戻す
●満水にしてから電源を入れてください。また、満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。故障の原因となります。
●給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

## 3 満水を確認後、電源を入れる

(1)200V電源ブレーカーを「入」にする
(2)電源レバーを上げ、「入」にする
●電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。

## 4 機器のエア抜き運転を行う

(1)台所リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す
●エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」が表示されます。10分後に自動で停止します。
●エア抜き運転を途中で終了させる場合は、同手順(「▲」「▼」同時3秒押し)を行なってください。
●初期のみ、電源を入れる(3項)と、自動でエア抜きを行います。
(2)エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす(1分後、レバーを戻す)

## 5 リモコンの時刻を確認する

●その他の設定(給湯温度、湯はり温度、湯はり湯量など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。
●初めてご使用の場合は電力モードを確認し、合っていない場合は、ご契約の電力制度に合わせてください。(P27)

## 6 お湯を使う

●約8時間で満タンまでわき上がります。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 使いはじめは、湯温を確認する(やけどの原因)<br>特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。 |

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。

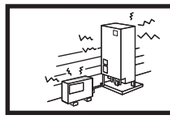
直らないときは、
**お買い上げの販売店**または
修理窓口（P39）へ。

## お湯関係

蛇口や浴槽の**お湯・水**に関する内容です。

| 症状 | 処置・確認事項 |
|---|---|
| お湯がたりない | ●お湯をたくさん使用した場合は、**満タンわき増し**（P18）をご利用ください。<br>●**わき上げ休止**（P17）を設定している場合は、わき上げ休止を解除してください。<br>●**節電モード**（P21）を設定している場合は、節電モードを解除してください。<br>●**ピーク停止**（P27）を設定している場合は、ピーク停止を解除してください。<br>●わき上げをしていないときに、排水口から水（お湯）が出ている場合は逃し弁の点検を行なってください。（P28） |
| 蛇口のお湯の温度が低い、水が出る | ●**配管の放熱**によって、温度が低くなることがあります。<br>●湯切れしている場合、お湯は出ません。お湯がわくまでしばらくお待ちください。<br>●タンク内の温度が低いときは、給湯温度より低い温度のお湯が出ることがあります。<br>●湯水混合栓で水と混合されている場合は、給湯温度よりも低くなります。<br>●蛇口の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。リモコン画面の「**給湯マーク**」を確認してください。（P7）<br>●**ふろ機能（湯はりなど）中**に停電があると、設定温度と異なる低温のお湯が蛇口から出ることがあります。<br>●給湯温度が「水」設定の場合、お湯は出ません。<br>●サーモスタット付湯水混合栓の場合は、使用するお湯の温度より給湯温度設定を10℃以上高くしてください。それでもお湯の温度が低い場合は、湯水混合栓の取扱説明書にしたがって温度調節を行なってください。調節方法が分からない場合は、湯水混合栓の取扱説明書に記載の相談窓口へお問い合わせください。<br>●1ヶ所のみの湯温が低い場合は湯水混合栓の故障の可能性があります。販売店にご相談ください。 |
| お湯から油が出る、臭い | ●配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。気になる場合はタンク内の湯を入れかえてください。（P32） |
| 残り湯が臭う | ●残り湯をご使用になる場合、浴槽のお湯が臭うことがあります。衛生面上、毎回お湯を入れかえることをおすすめします。 |
| 浴槽に青い線がつく | ●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので身体に害はありません。台所用の油汚れ専用洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。 |
| 水が青く見える | ●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。 |
| お湯・水が出ない | ●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。<br>●断水時は、断水が終わるまで待ってください。<br>●配管凍結している場合は、湯水混合栓のハンドルを湯側にして解凍するのをお待ちください。復帰しない場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。<br>●**給水ストレーナにゴミが詰まっている場合**は、歯ブラシなどでゴミを取り除いてください。（P29） |
| 蛇口のお湯の温度が変動する | ●給湯中に**湯はり、たっぷり、ぬるく、高温さし湯**をすると、温度が多少変動することがあります。<br>●蛇口の開閉などにより、リモコン画面の「**給湯マーク**」が点灯・消灯を繰り返しているときは、温度が変動することがあります。 |
| お湯がわかない | ●200V電源ブレーカーまたは電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。<br>●**わき上げ休止**（P17）を設定している場合は、**わき上げ休止**を解除してください。<br>●**わき上げ停止日数**（P18）を設定している場合は、**わき上げ停止日数**を解除してください。<br>●**ピーク停止**（P27）を設定している場合は、**ピーク停止**を解除してください。<br>●**満タンわき増し**をご利用ください。（P18） |
| お湯が白く濁って見える | ●水中に溶け込んでいた空気が細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。 |





## 給湯機

貯湯ユニット、ヒートポンプユニットに関する内容です。

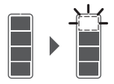
| 症状 | | 処置・確認事項 |
|---|---|---|
| 貯湯ユニット | 排水口からお湯（水）が出ている | ●わき上げ中は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。<br>●わき上げ中以外にお湯が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P28）<br>●貯湯ユニットのドレンホース（P8）から水が出続ける場合は、貯湯ユニットからの水漏れの可能性がありますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| ヒートポンプユニット | 昼間に動く | ●お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。<br>●冬期はヒートポンプ配管の凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動くことがあります。<br>●**アシスト湯はり中**は、ヒートポンプユニットが動きます。 |
| | 水が出ている | ●運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。<br>●温度、湿度によって、機器の底面に結露することがあります。 |
| | ピーク停止表示中、わき上げ休止、わき上げ停止日数設定中も動く | ●外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。<br>●電力契約モード（P27）がお客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。 |
| | 運転音がうるさい | ●わき上げ中は運転音が出ます。冬期等の外気温度が低い環境では、運転音は大きくなる場合があります。<br>●外気温度が下がり、湿度が高いときは、自動霜取装置がはたらきますので、運転音が悪化する場合があります。<br>●フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。 |
| | 運転／停止を繰り返す | ●外気温度が低いときは、ヒートポンプユニットの熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。 |
| | 夜間時間帯になってもすぐにわき上げしない | ●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻にお湯がわき上がるよう調整しています。<br>●**アシスト湯はり中**は、リモコンに「わき上げ中」は表示されませんが、わき上げは行なっています。 |

### 冬期に多い現象

●ヒートポンプユニットの運転音は大きくなる場合があります。

●ヒートポンプユニットのフィンに霜がつき、白くなることがあります。
また、付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。

●配管からの放熱により、お湯を使っていないのに残湯量が減ったり、タンク内の温度が上がらないことがあります。



## 操作

リモコンの**操作**に関する内容です。

| 症状 | | 処置・確認事項 |
|---|---|---|
| ふろ自動 | 湯はりができない | ●**浴槽の排水栓が閉じているか**、確認してください。<br>●リモコンに**「お湯がなくなりました」**が表示されている場合は**満タンわき増し**をご利用ください。（P18）<br>●機器のエア抜き運転中は湯はりできません。<br>●断水時は湯はりできません。 |
| | 湯はり時間が長い | ●**給水ストレーナにゴミが詰まっている場合**は、歯ブラシなどでゴミを取り除いてください。（P29）<br>●湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと長くなります。<br>●湯はり時間は、配管施工上の条件や水源水圧、蛇口などの使用状況により、多少変わることがあります。 |

# 操作（つづき）

リモコンの**操作**に関する内容です。

| 症状 | | 処置・確認事項 |
|---|---|---|
| ふろ自動 | 湯はり温度が設定温度より低い | ●**湯はり温度は目安**です。浴槽内の温度は配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。次回から**湯はり温度**を上げてください。<br>●冬期は特に浴槽のお湯が冷めやすいので、ふたをして湯はり温度を上げてください。 |
| | 水位が安定しない（あふれる） | ●あふれる場合は浴槽の容量以上に設定されていないか確認してください。浴槽の容量に対して7～8割が適正量です。<br>●設定量を湯はりしますので、湯はり中に蛇口やシャワーからお湯をたすと、あふれることがあります。<br>●浴槽に残り湯があるときは、残り湯分だけお湯が増えます。残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。 |
| 高温さし湯 | 高温さし湯ができない | ●湯はり中は使用できません。<br>●リモコンに**「お湯がなくなりました」**が表示されると停止します。（満タンわき増しをご利用ください。）<br>●浴槽水位が浴槽アダプターより少ない場合は、使用できません。<br>●**あつく**スイッチを3秒以上押し続けてください。<br>●機器のエア抜き運転中は使用できません。 |
| | 中止しても機器が動作する | ●すぐには止まりません。配管内に残った熱いお湯を押し出すため、約8L～10Lのお湯が出ます。 |
| | 温度が低い | ●タンク内の温度が低いときや配管などの条件によっては、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。<br>●シャワー等を使用しているときに高温さし湯を行うと、設定より低い温度になることがあります。 |
| ふろ予約 | 予約した時刻に湯はりが完了しない | ●水源水圧の変動などにより、設定時刻に完了しない場合があります。<br>●湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、設定時刻に完了しない場合があります。<br>●時刻が合っていないと、設定時刻に完了しません。**時刻を合わせて**ください。（P16） |
| 満タン わき増し | スイッチを押してもわき上げをしない | ●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。<br>●**満タンわき増し**を設定するとお湯を約100L使用したとき自動的にわき上げを開始します。<br>●**アシスト湯はり中**は、リモコンに「わき上げ中」は表示されませんが、わき上げは行なっています。 |
| 給湯温度 | 変更できない | ●浴室リモコンの**優先**スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（P15） |
| 音声ガイダンス | 聞こえない | ●**音声ガイダンス**の設定を「消音」以外の設定にしてください。（P19） |
| インターホン | 通話できない | ●開始から1分間以上たっている場合は、もう一度**通話**スイッチを押してください。<br>●**通話音量**が聞こえにくい場合は、「標準」または「最大」にしてください。（P16）<br>●リモコンに向かって話していない、またはリモコンに近づきすぎている場合は、適切な位置で通話してください。<br>●通話中に「ピー」という音が出る場合は、**通話音量**を下げてください。 |
| 節電モード | 電力削減量の目安が変動する | ●消費電力量の目安は環境条件（外気温度や水温）等に影響されます。<br>また、同じ使用湯量でも季節により変動します。 |
| お湯チェック | 日々の使用湯量が変化しないのに残湯量が減る | ●タンク残湯量はタンク内のお湯の温度や水温によって変わるため、使用湯量が同じでも残湯量表示の減り方は変わります。 |
| タンク内温度表示 | タンク内の温度が低い | ●以下のことを行うとタンク内の温度が上がらない場合があります。<br>①わき上げ中にお湯を使用した場合<br>②わき上げモードの設定をかえた場合（「おまかせ」→「多め」）<br>③給水水温が低く、残湯量が少ない場合<br>④配管からの放熱や外気温度が低い場合<br>⑤使用量が少ない場合<br>●**学習**によってタンク内の温度は変わるため、わき上げを行なっていれば正常です。 |

# リモコン

リモコンの**画面（表示部）**や**ブザー（報知音）**に関する内容です。

| 症状 | | 処置・確認事項 |
|---|---|---|
| 台所リモコン | 昼間に「わき上げ中」が点灯する（昼間にわき上げる） | ●お湯が不足しないように、昼間時間帯や**節電モード**設定中でもわき上げを行います。<br>●凍結防止のためのわき上げを行なっています。 |
| | リモコンの表示が切り替わる | ●**アシスト湯はり中**は、リモコンの表示が切り替わります。 |
| 台所・浴室リモコン | 表示が消えている、時々点灯する | ●給湯機を一定時間使用しない場合には画面が待機表示に切り替わります。（**自動消灯時間**：浴室リモコン P23、台所リモコン P25）<br>●**バックライトモード**がモード1に設定されているときは、お湯を使用したときにバックライトが点灯します。（**バックライトモード**：浴室リモコン P23、台所リモコン P26） |
| | お湯を使っていないのに残湯量が減る | ●**自然放熱**などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。 |
| | 一度に複数個の残湯量表示が減る | ●タンク内のお湯の温度が下がっているときにお湯を使うと、一度に複数個の残湯量表示が減ることがあります。<br>●湯はりなどでたくさんお湯を使用する場合は、一度に複数個の残湯量表示が減ることがあります。 |
| | 点灯しない | ●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| | 時刻が「00:00」で点滅する | ●時刻を設定してください。（P16） |
| | 突然、リモコンのブザーが鳴る | ●**優先**スイッチを押したときや給湯温度を60℃に変更したときは、リモコンの**音声ガイダンス**や**ブザー**が鳴ります。<br>●お湯の量が少なくなったとき、またはなくなったときに**報知音**が鳴ります。（リモコンのいずれかのスイッチを押すと、途中で報知音を止めることができます。） |
| | 表示が残像する | ●低温環境下では、液晶の動作が鈍り、表示に残像が残る場合があります。 |
| | 消灯中に文字が流れている（スクロールする） | ●待機表示中の給湯温度50℃または60℃設定時には「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。 |
| | 「断水／配管凍結ではありませんか」と表示される | ●タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。<br>●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。（P 9）<br>●給水ストレーナにゴミがつまっている場合は、歯ブラシなどでゴミを取り除いてください。（P29）<br>●断水時は、断水が終わるまで待ってください。<br>●配管凍結している場合は、解凍するのをお待ちください。復帰しない場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。<br>※お湯の使用をやめた後、いずれかのスイッチを押すとメッセージが消えます。 |
| | 給湯温度が「--」℃と表示している | ●「水」設定になっています。給湯温度スイッチを押して変更してください。（P15） |
| 残湯量表示 | 朝（夜間時間帯終了時）、「満タン」表示にならない | ●お湯の使用量が少ないときは、不要なわき上げを防ぐため、タンク全量をわき上げない場合があります。「満タン」表示にしたい場合は、「多め」に設定してください。<br>●夜間時間帯に湯を使用すると、「満タン」までわき上がらない場合があります。 |

# リモコンにエラーが表示されたら

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または「修理窓口（P39）」へご相談ください。

| 表示 | 原因・処置 |
|---|---|
| U00 | ●給湯機の給水口にお湯が供給されています。または、断水、配管凍結の可能性があります。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店（販売店）または「修理窓口」へご連絡ください。（P39） |
| U10 | ●浴槽にお湯（水）がない状態で高温さし湯を行うと表示されます。このとき、高温さし湯を停止するため、浴槽アダプターから音が出ることがあります。高温さし湯は、浴槽にお湯（水）がある状態で行なってください。また、浴槽の湯温が48℃以上で高温さし湯を行なった場合も表示されることがあります。<br>〈復帰方法〉「U10」表示中に湯はりを行うと、再び「U10」が表示されることがあります。配管の湯が冷めるまで待って（20分～30分程度、季節によって異なります。）からやり直してください。早く復帰させたいときは、シャワーなどで冷たい水をかけながらぬるくスイッチを押してください。（「U10」表示が出なくなるまで数回繰り返してください。）<br>〈復帰方法〉冷水をかけながら、ぬるくスイッチを押す |
| U19<br>P16 | ●ヒートポンプ配管内の水が正しく循環できておりません。タンクやヒートポンプ配管に水が供給されていない、またはヒートポンプ配管のエア抜き不足の可能性があります。据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| P05 | ●タンク内に水が無い場合は、タンクを満水にしてください。<br>●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。（P 9 ）<br>●給水ストレーナにゴミがつまっている場合は、歯ブラシなどでゴミを取り除いてください。（P29）<br>●断水時は、断水が終わるまで待ってください。<br>●配管凍結している場合は、解凍するのをお待ちください。復帰しない場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。<br>※処置後、ふろ機能スイッチを押すとエラー表示が消えます。 |
| H03 | ●給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。<br>据付工事店（販売店）へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。 |
| H10 | ●貯湯ユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。わき上げも行いませんので、据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店（販売店）または「修理窓口」へご連絡ください。（P39） |
| H11 | ●貯湯ユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。<br>据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。 |
| その他の表示<br>（E05）など | ●給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店（販売店）または「修理窓口」へご連絡ください。（P32 P39） |

## 延長保証制度

給湯機の保証期間は保証とアフターサービス（P39）に記載の通りですが、保証期間を延長できる「延長保証制度」をご用意させていただいております。保証期間が8年間と5年間の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

保証期間8年間の場合　商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

保証期間5年間の場合　商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。
●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証終了後は通常の有料修理に移行いたします。
●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。
●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉

延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。

保証する修理費用 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉　2012年9月現在（保証料は変更する場合があります）

| ヒートポンプ式電気給湯機　三菱エコキュート | |
|---|---|
| 8年間保証料<br>24,400円（税抜価格 23,238円） | 5年間保証料<br>11,340円（税抜価格 10,800円） |

〈資料のご請求は〉

三菱電機延長保証申込受付センター
0120-867-789
受付時間：平日午前9:00～午後5:30
（土日祝祭日、年末年始及び所定の休業日を除く）





# 保証とアフターサービス

## ■保証書（別添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）
●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

**保証期間**

| | |
|---|---|
| 2年間 | 本体（逃し弁、減圧弁）、パッキン、リモコン、リモコンケーブル |
| 3年間 | 熱交換器、コンプレッサー |
| 5年間 | タンク不良による水漏れ |

※保証期間を延長できる「延長保証制度 P38」があります。

## ■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店か下記の「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

●「故障かな？と思ったら」（P34）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。
●保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。
●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。
●修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
●ご連絡いただきたい内容

| |
|---|
| ●品名：自然冷媒$CO_2$家庭用ヒートポンプ給湯機 |
| ●形名：（例）エスアールテー エイチピーテー シー SRT-HPT46C7 |
| ●お買上げ日：年月日 |
| ●故障の状況：できるだけ具体的に |
| ●お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日 |

※形名は貯湯ユニットの前面カバーに表示（P 9 ）

●施工上の不具合による故障及び損傷が生じた場合や据付（接続・調整等）、取扱説明を依頼された場合は保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

## ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
**お買上げの販売店へ**

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、
各窓口 へお問い合わせください。

**■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて**

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

### ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター
いつもサンキュー　365日
フリーコール 0120-139-365（無料）

| 携帯電話・PHS・IP電話の場合 | |
|---|---|
| 三菱電機お客さま相談センター<br>〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3<br>FAX（03）3413-4049（有料） | （03）3414-9655（有料） |

■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

### 修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル 0120-56-8634（無料）
インターネット www.melsc.co.jp
携帯電話サイト 空メールの送り先：fc8634@melsc.jp
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

| 携帯電話・PHS・IP電話の場合 | | |
|---|---|---|
| 北海道・東北<br>関東甲信越 | 東日本<br>修理受付センター<br>FAX（03）3424-1115（有料） | （03）3424-1111（有料） |
| 東海・北陸・関西<br>中国・四国・九州 | 西日本<br>修理受付センター<br>FAX（06）6454-3900（有料） | （06）6454-3901（有料） |

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

K11A

困ったときは

34 故障かな？と思ったら

30 災害時にタンクの水を使いたいとき

39 アフターサービス

必ずお読みください

28 お手入れ

4 安全のために必ずお守りください

6 ご使用の前に


# よくあるご質問

## 「わき上げ」に関するご質問

### ① 昼間にヒートポンプユニットが動く

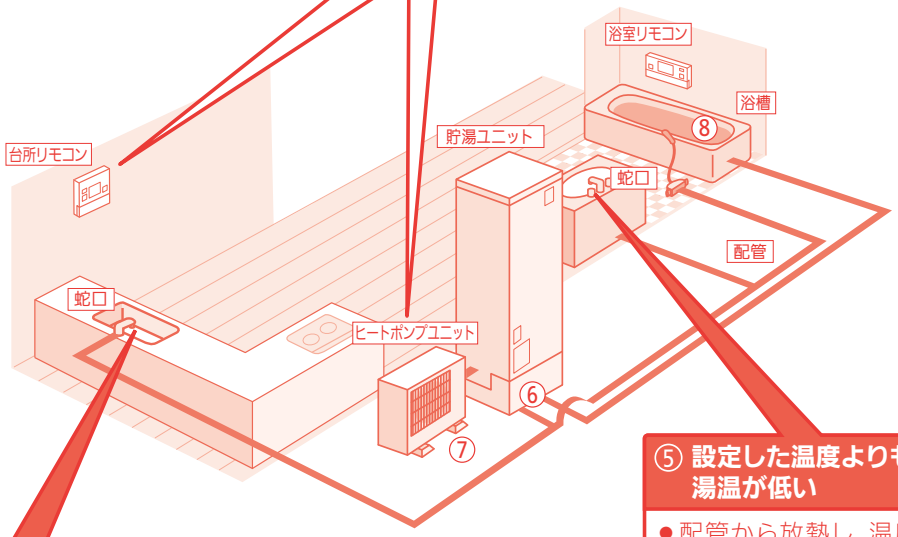
- お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。
- アシスト湯はり（P 6）を行なっているためです。

### ② 「お湯がなくなりました」と表示

- 普段より多くお湯を使用する場合は「満タン」を押してください。

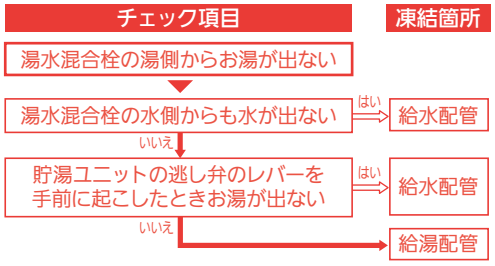
### ③ 朝（夜間時間帯終了時）、満タンにならない

- お湯の使用量が少ないときは、ムダを防ぐため、満タンまでわき上げないことがあります。
- 夜間時間帯にお湯を使うと、満タンまでわき上げないことがあります。




### ④ お湯・水が出ない

- 給水配管専用止水栓が開いていること、給水ストレーナのゴミ詰まりを確認してください。
- 冬期、お湯が出ない場合は以下の流れで、各配管に凍結がないか確認してください。（お買い上げの販売店へご相談ください。）




※外気温が低く、給水・給湯配管凍結のおそれがある場合は、少量の水を流して凍結防止を行う「水」設定機能があります。（P 7）

### ⑤ 設定した温度よりも湯温が低い

- 配管から放熱し、温度が低くなることがあります。
- リモコンの給湯温度を上げたり、湯水混合栓の温度調節をしたりしてください。

| | |
|---|---|
| ⑥貯湯ユニットの排水口からお湯が出る | わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。 |
| ⑦ヒートポンプユニットから水が出ている | 運転中はドレン口（P 8）から少量の水が出ることがあります。 |
| ⑧青い線がつく | 湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して浴槽に青い線がつくことがあります（P34） |

| 製品形名〈製造番号〉 | SRT-　　〈　　〉 | 据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号 |
|---|---|---|
| 台所リモコン形名 | RMC- | |
| 浴室リモコン形名 | RMC- | |
| お買上げ日 | 年　月　日 | |

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

**愛情点検**

★長年ご使用の給湯機の点検を！　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

| こんな症状はありませんか | ●水が漏れている<br>●時々漏電遮断器がはたらく。<br>●その他の異常や故障がある。 | ▶ | ご使用中止 | 故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。 |
|---|---|---|---|---|


三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800



T965Z130H02〈2012-10〉